

*Digital Wireless  
Intercom System*

デジタルワイヤレスインカムシステム

**TWI-P190  
子機(PS)  
ID 設定用 PC ソフト  
取扱説明書**

必ずこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。  
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

この取扱説明書はバージョン 1.0 について書かれたものです。

The logo for TAMURA, featuring the word "TAMURA" in a bold, sans-serif font with a stylized, curved line above the letters "A" and "U".

## ご使用にあたってのお願い

- 本プログラムを使用することで生じたいかなるトラブル、損失、損害に対して、当社は一切の責任と保証を負いません。
- この取扱説明書、ハードウェア、ソフトウェアおよび外観の内容について将来予告なしに変更することがあります。
- OSのアップデートあるいは、他のソフトウェアが動作することにより、本装置の故障、誤動作につきまして当社は一切の責任を負いかねますので、予めご了承ください。

## YMT-1940,YMT-1940A の ID 設定用 PC ソフトをご使用の方へ

- 本ソフトはYMT-1940、YMT-1940A、TWI-P190で使用できます。先にYMT-1940及びYMT-1940AのID設定用PCソフトをアンインストールしてから、本ソフトをインストールしてください。  
YMT-1940及びYMT-1940AのID設定用PCソフトで作成した設定ファイル(CSV)ファイルは本ソフトへ自動的に引き継がれ使用できます。  
アンインストールの方法は取扱説明書の[アンインストール]の項目を参照してください。
- TWI-P190は、YMT-1940及びYMT-1940AのID設定用PCソフトで使用できません。

# 目次

概要 .....	3
1. 準備・設定 .....	3
(1) PC システム条件 .....	3
(2) Windows 8/8.1 に新規インストールする前に .....	4
(3) インストール .....	6
(4) アンインストール .....	11
2. 使用方法 .....	12
(1) 起動 .....	12
(2) メイン画面 .....	14
(3) 子機設定画面(新規登録) .....	16
(4) 子機設定画面(系統追加) .....	22
(5) 子機設定画面(編集) .....	23
(6) 子機設定画面(読み出し) .....	24
(7) 自動設定画面 .....	25
(8) 登録済スタジオを選択した自動設定(子機番号変更なし) .....	26
(9) 登録済スタジオを選択した自動設定(子機番号自動インクリメント) .....	29
(10) 登録済スタジオを選択した自動設定(子機番号都度設定) .....	32
(11) 登録済系統を選択した自動設定(子機番号変更なし) .....	36
(12) 登録済系統を選択した自動設定(子機番号自動インクリメント) .....	39
(13) 登録済系統を選択した自動設定(子機番号都度設定) .....	42
(14) 検索リスト画面 .....	45
(15) 履歴画面 .....	48
(16) バージョン情報画面 .....	51
(17) 子機設定情報ファイル .....	52

## 概要

本ソフトウェアは、デジタルワイヤレスインカムシステムの TWI-P190、YMT-1940A および YMT-1940 子機（以下 PS）とパソコンを USB で接続し、子機設定情報の読み出し及び書き込みを行います。

### 1. 準備・設定

#### (1) PC システム条件

- ① OS : Microsoft® Windows® XP (32bit) SP3  
Microsoft® Windows® XP (64bit) SP2  
Microsoft® Windows Vista® (32/64bit)  
Microsoft® Windows® 7 (32/64bit)  
Microsoft® Windows® 8 (32/64bit)  
Microsoft® Windows® 8.1 (32/64bit)
- ② CPU : 1.8GHz 以上
- ③ RAM : 2GB 以上
- ④ 空きディスク容量 : 4GB 以上
- ⑤ ディスプレイ 解像度 : XGA (1280×768) 以上
- ⑥ USB : 2.0
- ⑦ フレームワーク : Microsoft® .NET Framework 3.5 以上
- ⑧ Excel : Microsoft® Excel® 2000 以上

Microsoft、Windows、Excelは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

注1：PS をパソコンに USB で接続する場合、USB ハブは使用しないでください。

注2：プログラムを使用する際は、パソコンに PS 以外の機器を接続しないでください。  
他の機器に悪影響を与える恐れがあります。

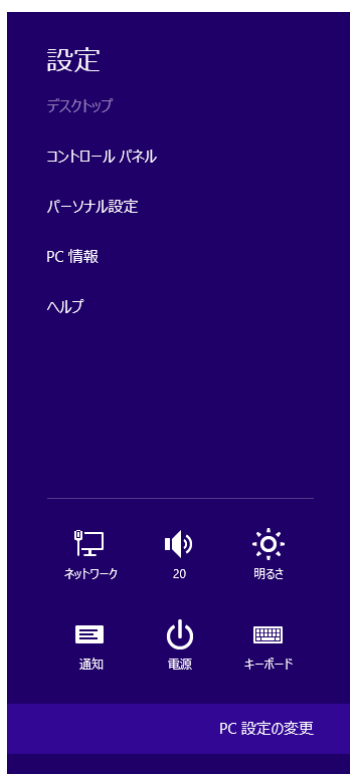
(2) Windows 8/8.1 に新規インストールする前に

Windows 8/8.1 に新規インストールするときは、ドライバ署名の強制を無効にした上でインストールする必要があります。Windows 8/8.1 への新規インストール以外のときは(3)に進んでください。

- ① チャームを呼び出します
- ② 「設定」をクリックします



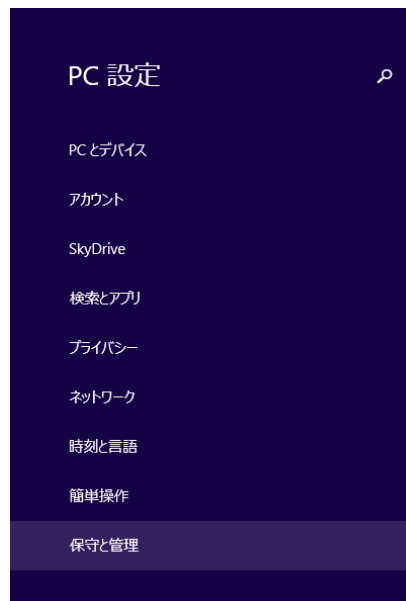
- ③ 「PC 設定の変更」をクリックします



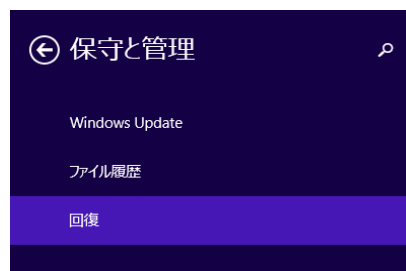
- ④ 【Windows 8 の場合】
  - ① 「全般」をクリックします
  - ② 「PC の起動をカスタマイズする」の[今すぐ再起動する]をクリックします

⑤ 【Windows 8.1 の場合】

① 「保守と管理」をクリックします



② 「回復」をクリックします



③ 「PC の起動をカスタマイズする」の[今すぐ再起動する]をクリックします

### PC の起動をカスタマイズする

デバイスまたはディスク (USB ドライブや DVD など) からの起動、PC のファームウェア設定の変更、Windows スタートアップ設定の変更、またはシステム イメージからの Windows の復元を行います。この操作を行うと、PC が再起動します。

**今すぐ再起動する**

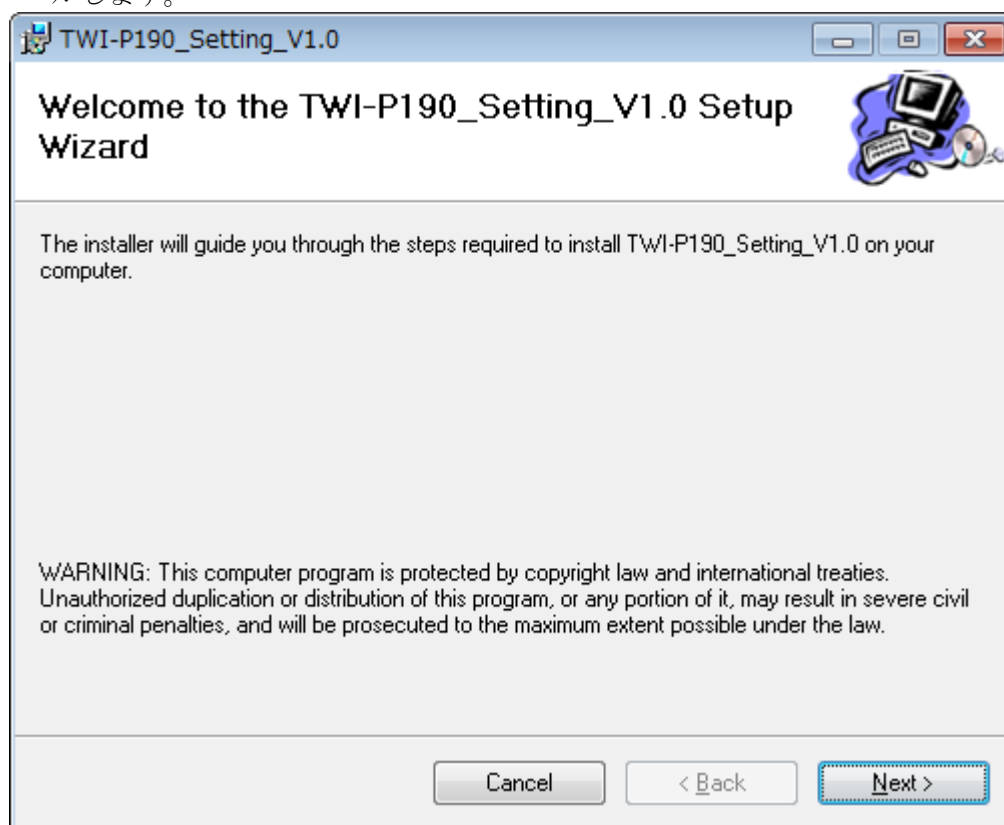
- ⑥ 「オプションの選択」で[トラブルシューティング]をクリックします
- ⑦ 「トラブルシューティング」で[詳細オプション]をクリックします
- ⑧ 「詳細オプション」で[スタートアップ設定]をクリックします
- ⑨ [再起動]をクリックします
- ⑩ Windows が再起動します
- ⑪ 「スタートアップ設定」で、キーボードの[F7]を入力して「ドライバー署名の強制を無効にする」を選択します
- ⑫ Windows が起動します

これで、インストールの準備が完了しました。

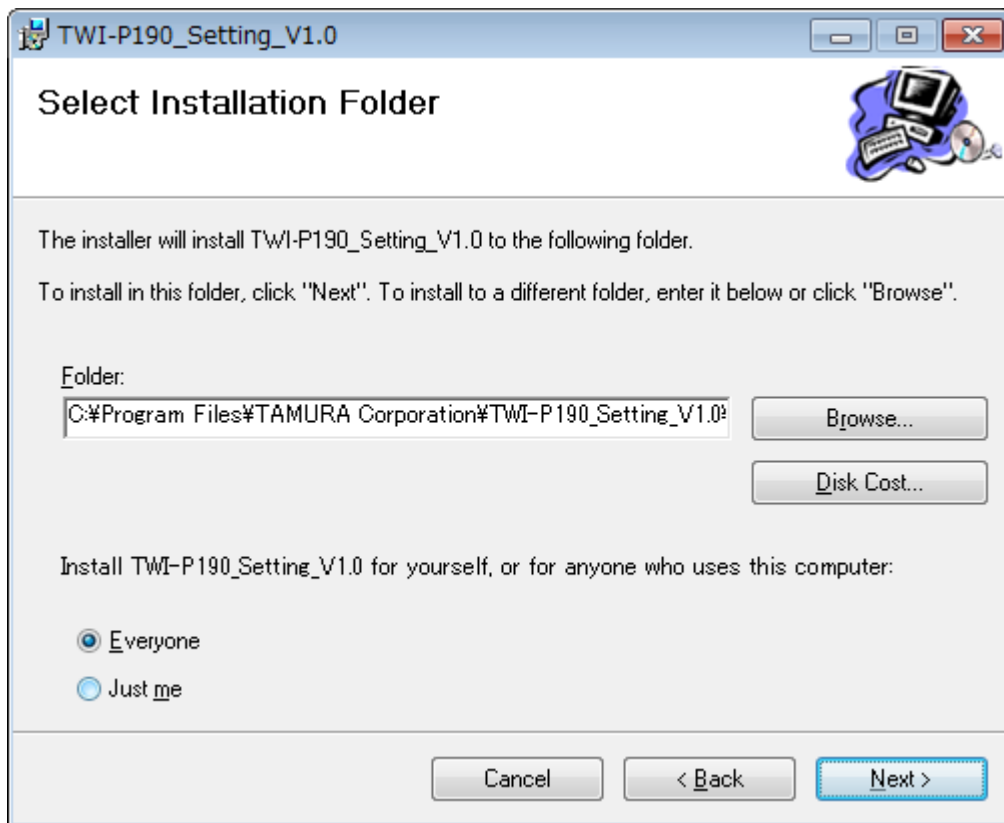
### (3) インストール

以下の手順に従ってインストールしてください。

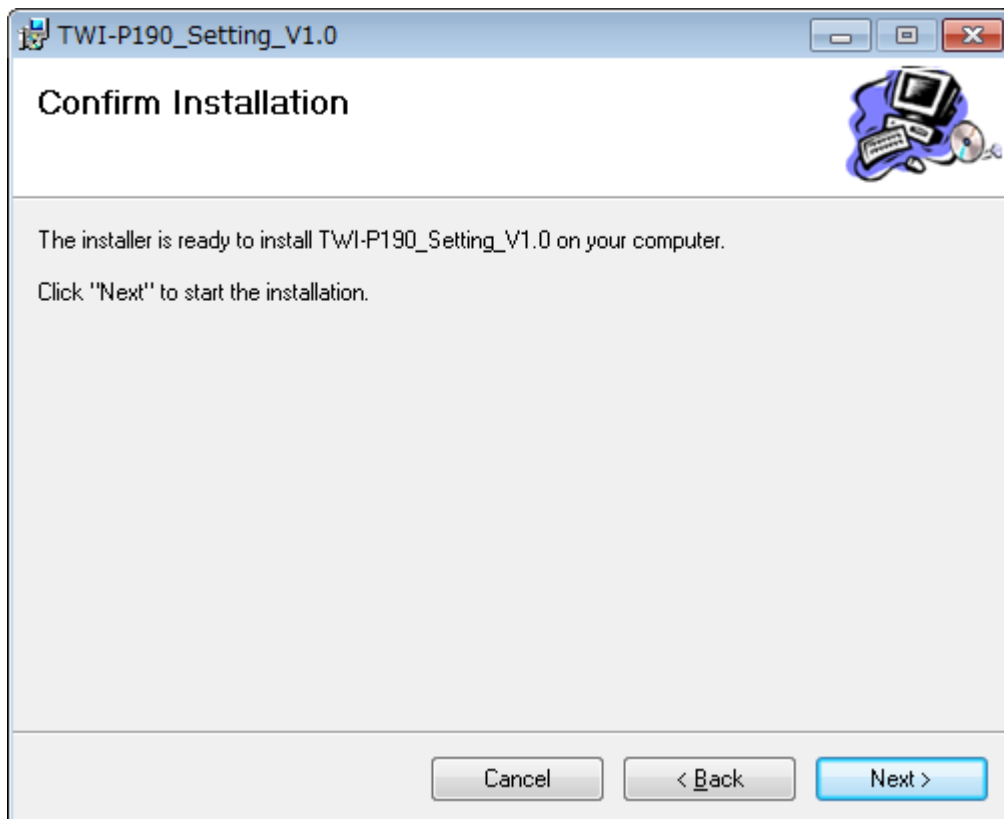
- ① パソコンの電源を入れ、Windows を起動します。Windows が起動している場合は、全てのアプリケーションを終了します。
- ② CD ドライブに付属の CD-ROM を挿入します。
- ③ CD-ROM 内にある setup.exe をダブルクリックします。  
setup.exe は、OS によって選択する場所が異なります。  
32bit 版の場合、D:\¥Setup¥Windows\_XP\_Vista\_7\_8\_32bit になります。  
64bit 版の場合、D:\¥Setup¥Windows\_XP\_Vista\_7\_8\_64bit になります。  
※ D:は CD-ROM ドライブのドライブ文字です、ご使用の環境によって異なります。
- ④ インストーラが起動し自動的にインストールを行います。画面の指示に従ってインストールします。



- ⑤ 「Next」を選択します。

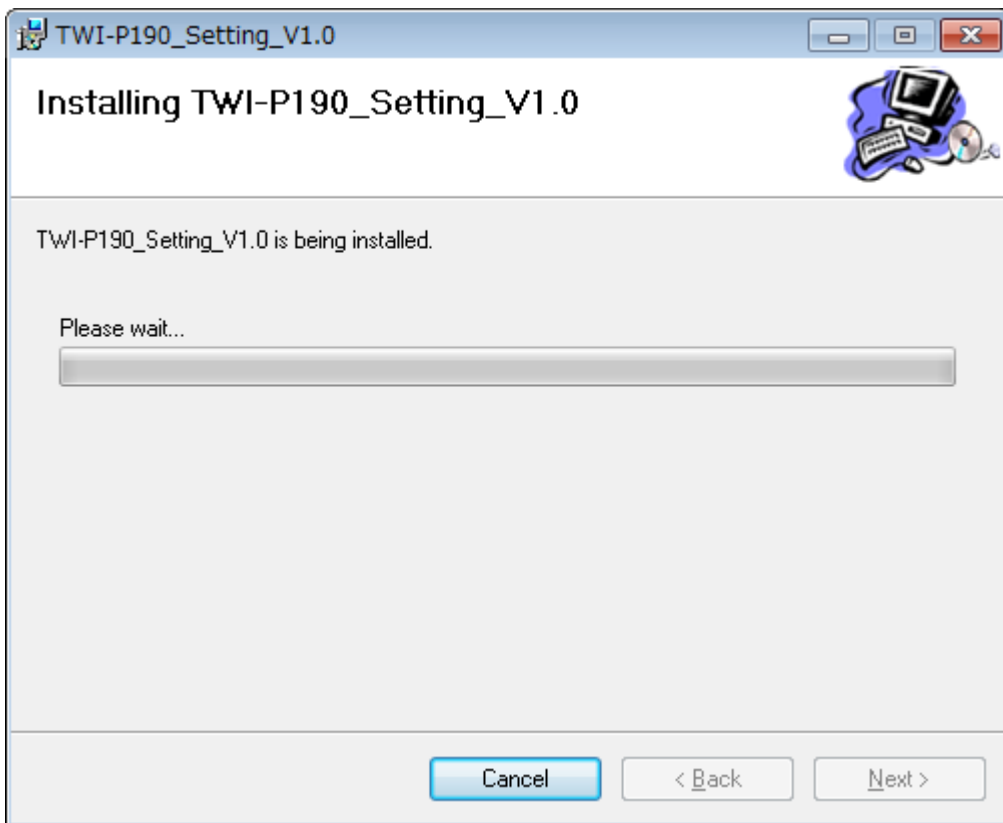


⑥ 「Next」を選択します。

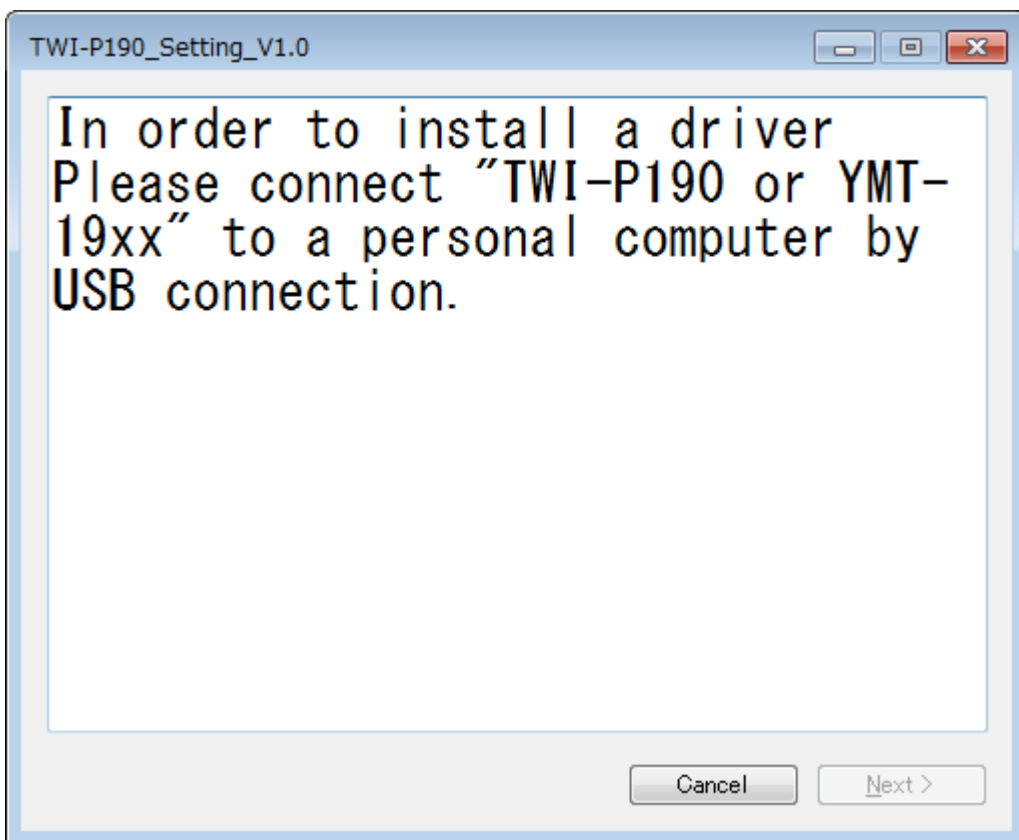


⑦ 「Next」を選択します。



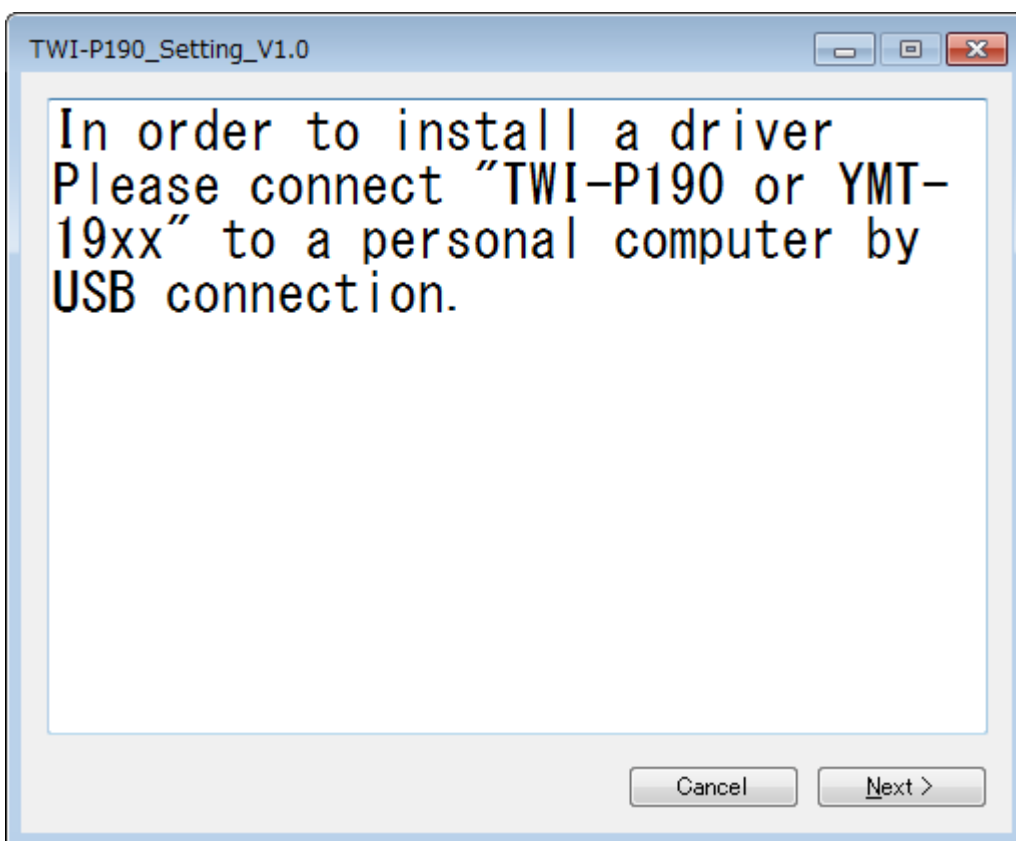
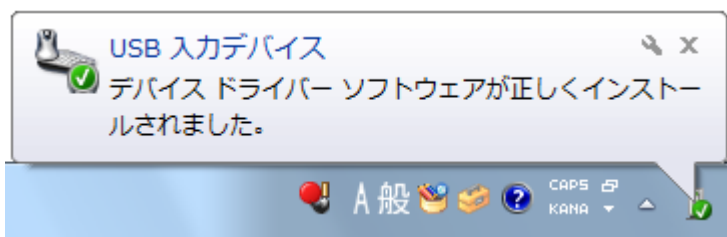


⑧ インストールが開始されます。

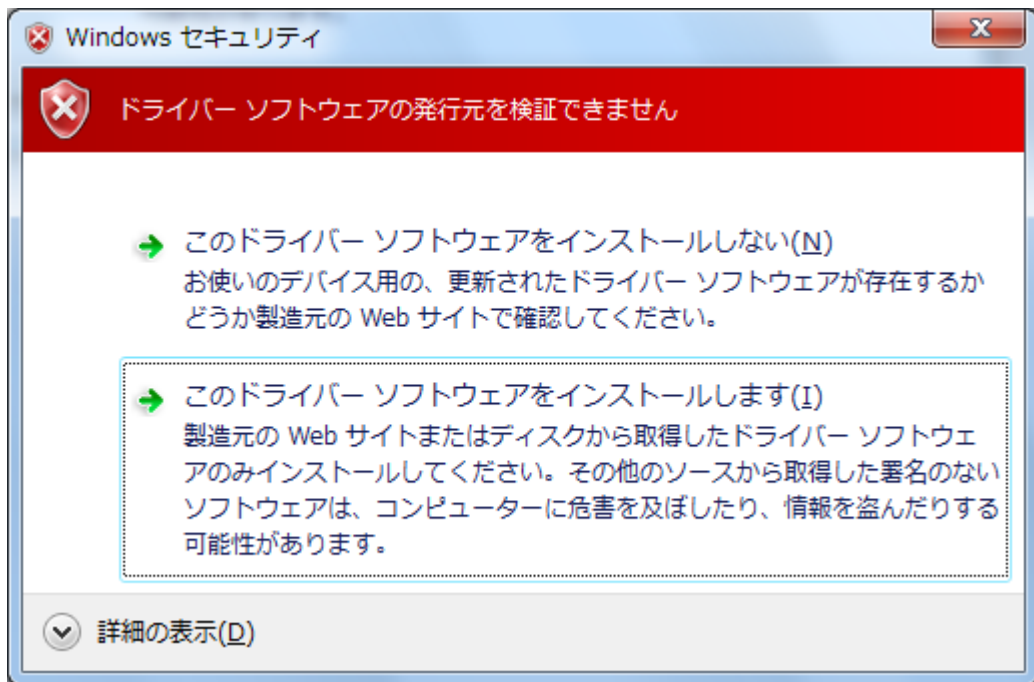


⑨ PS を USB に接続します。

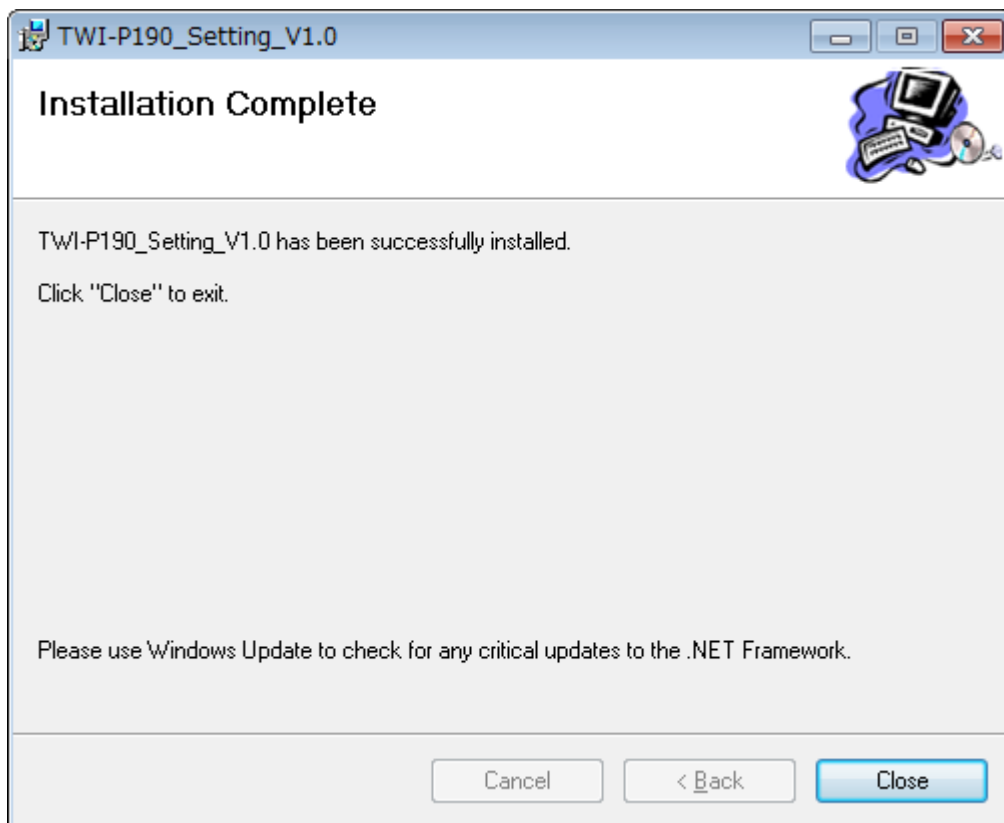
【注意】 PS を初めて USB に接続した場合は標準ドライバのインストールが行われます。スクリーン右下のタスクアイコンに以下の表示が行われるまでしばらくお待ちください。



⑩ インストーラが PS を認識すると、「Next」が有効になります。「Next」を選択します。



- ⑪ 「このドライバーソフトウェアをインストールします」を選択します。  
【注意】インストールされたドライバは、インストール時に PS と接続した USB ポートでのみ有効です。他の USB ポートでは PS が認識されませんのでご注意ください。



- ⑫ 「Close」を選択します。

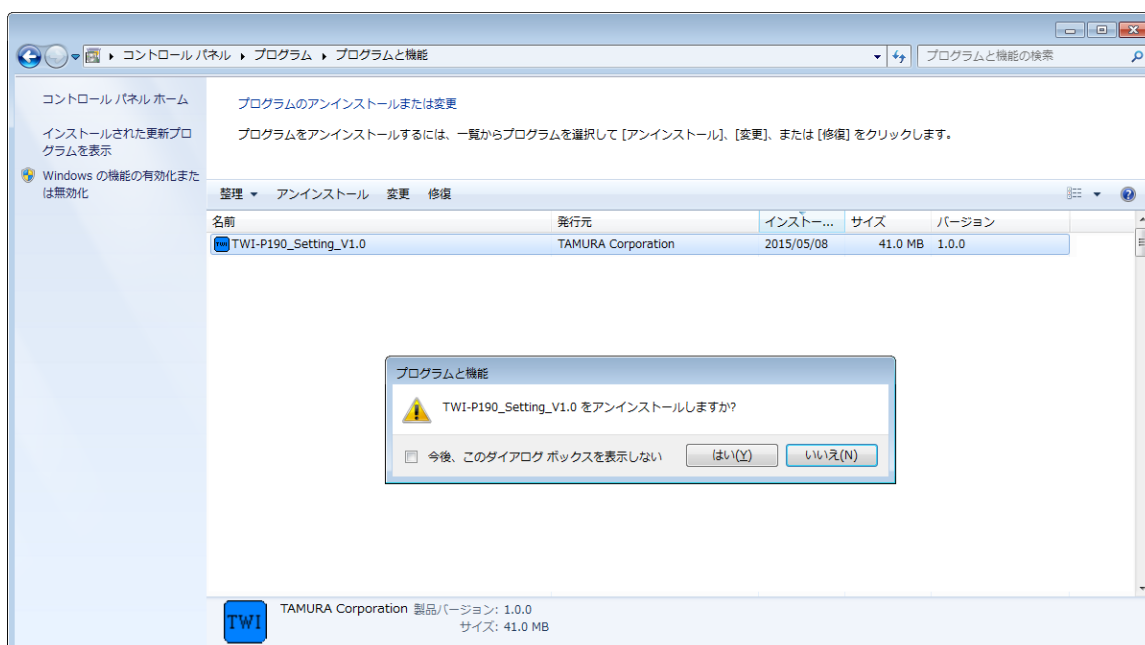
(4) アンインストール

アンインストールする場合は、以下の手順に従ってアンインストールしてください。

- ① 「スタート」→「コントロールパネル」を選択します。



- ② 「プログラムの追加と削除」を選択します。



- ③ 「TWI-P190\_Setting\_V1.0」を選択し、「アンインストール」を選択します。  
④ 「はい」を選択します。  
⑤ アンインストール作業が完了すると、全てのコンポーネントが削除されます。

【注意】 パソコンに保存された子機設定情報および設定履歴は削除されません。

## 2. 使用方法

### (1) 起動

#### <起動方法>

デスクトップ上にインストールされた「TWI-P190\_Setting\_V1.0」のアイコンをダブルクリックしてください。ソフトウェアが起動します。



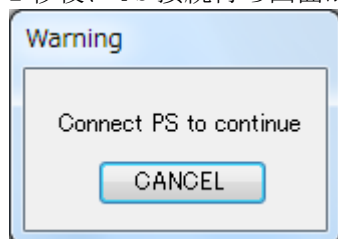
#### <スプラッシュ画面>

ソフトウェアが起動すると、スプラッシュ画面が開きます。



#### <PS 接続待ち画面>

2 秒後に PS 接続待ち画面が開きます。

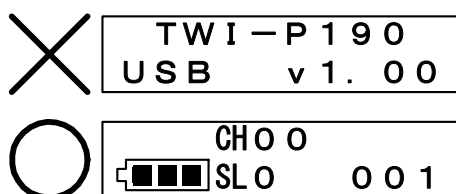


PS を USB に接続してください。

【注意】ソフトウェア起動前に PS を USB に接続している場合は、PS 接続待ち画面は表示されません。

#### <PS 接続時のご注意>

PS を USB に接続した後、PS の電源投入直後に読み込みや設定の操作を行うと、通信エラーが発生する恐れがあります。PS のバージョン表示画面（図上）ではなく USB 接続時の画面（図下）が表示されてから操作してください。

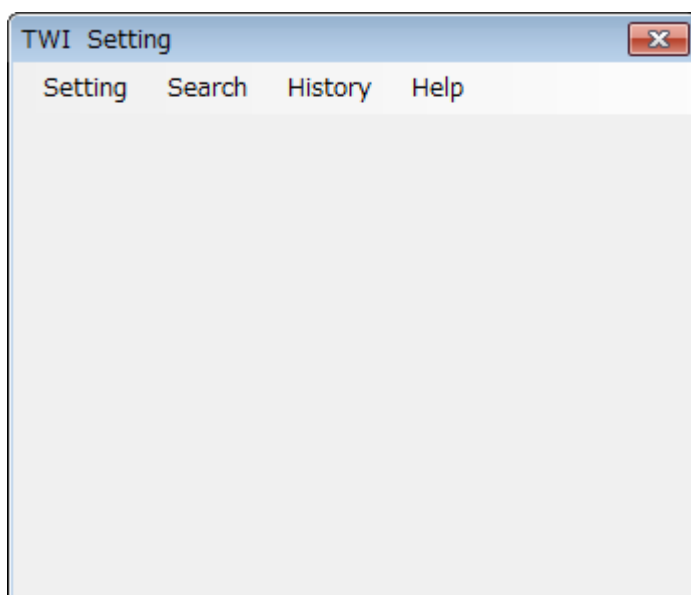


#### <旧バージョンデータの引継ぎ>

インストール時すでに YMT-1940 および YMT-1940A 子機 ID 設定用 PC ソフトのデータがある場合は、初回起動時に本ソフトウェア用のデータ形式に変換され、データを引き続き利用できます。

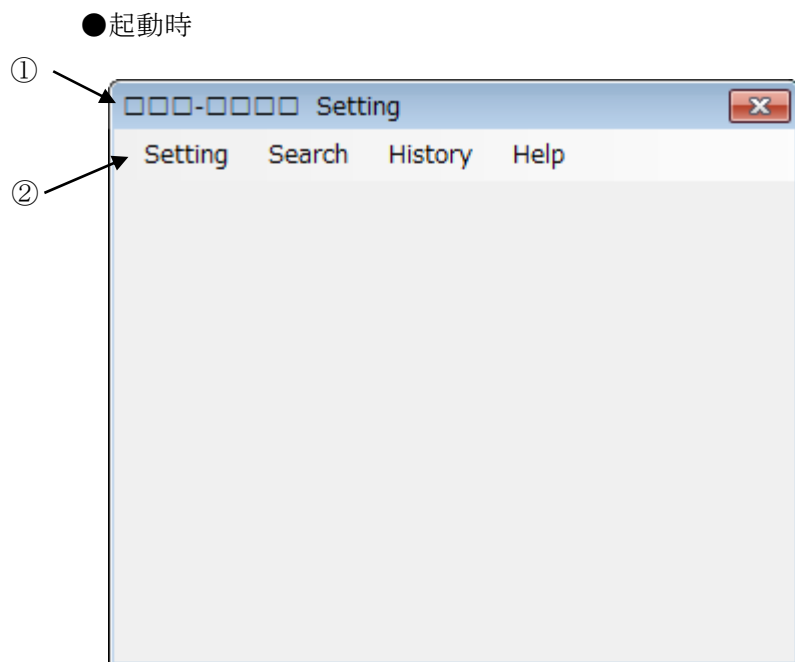
<起動画面>

PS の接続を正常に検出すると起動画面（メイン画面）が開きます。



(2) メイン画面

メイン画面では子機設定及び検索リストの表示及び子機設定履歴の表示をメニューから行うことができます。



① USB で接続した子機の機種名表示

TWI-P190 を接続した場合、“TWI-P190 Setting” を表示

YMT-1940A を接続した場合、“YMT-1940A Setting” を表示

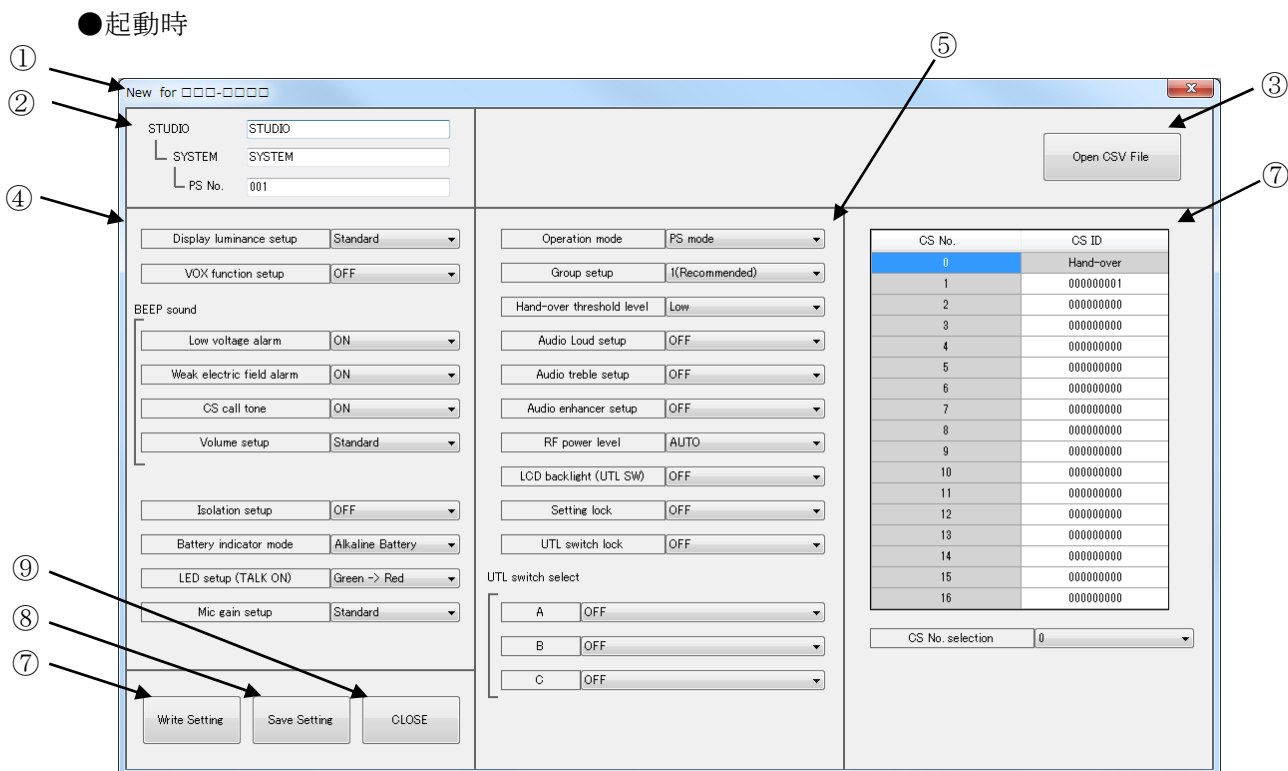
YMT-1940 を接続した場合、“YMT-1940 Setting” を表示

② メニュー	
<メニュー構成>	
Setting	
New . . . .	子機設定情報を CSV ファイルに新規登録します。新規登録した子機設定情報を、USB に接続した PS に書き込みます。詳細については「子機設定画面(新規登録)」章を参照ください。
Edit	
Add . . . .	CSV ファイルに登録済のスタジオ内の系統設定を同 CSV ファイルに追加登録します。追加登録した子機設定情報を、USB に接続した PS に書き込みます。詳細については「子機設定画面(系統追加)」章を参照ください。
Edit . . . .	CSV ファイルに登録済の子機設定情報を編集し、同 CSV ファイルに保存します。編集した子機設定情報を、USB に接続した PS に書き込みます。詳細については「子機設定画面(編集)」章を参照ください。
Read PS Setting . . . .	USB に接続した PS の子機設定情報を読み出します。読み出した子機設定情報を CSV ファイルに保存します。保存した子機設定情報を、USB に接続した PS に書き込みます。詳細については「子機設定画面(読み出し)」章を参照ください。
Auto . . . .	CSV ファイルに登録済の子機設定情報を、USB に接続した PS に自動的に書き込みます。複数の PS を順次、接続することでスタジオ内での設定及び共通系統設定が自動的に行われます。詳細については「自動設定画面」章を参照ください。
Exit . . . .	本ソフトウェアを終了します。
Search	
Search . . . .	USB に接続した PS の子機設定情報を CSV ファイルから検索し、リストに表示します。詳細については「検索リスト画面」章を参照ください。
History	
History . . . .	USB に接続した PS に書き込んだ履歴情報を表示します。詳細については「履歴画面」章を参照ください。
Help	
Version . . . .	本ソフトウェアのバージョン情報を表示します。詳細については「バージョン情報画面」章を参照ください。
【注意】	子機設定情報を保存する CSV ファイルの詳細については「子機設定情報ファイル」章を参照ください。



(3) 子機設定画面(新規登録)

子機設定画面(新規登録)では子機設定情報を CSV ファイルに新規登録し、新規登録した子機設定情報を、USB に接続した PS に書き込むことができます。



上図は、全ての設定項目を表示しています。

USB 接続する機種 (TWI-P190/YMT-1940/YMT-1940A) によって、表示される内容が異なります。

① USB で接続した子機の機種名表示

TWI-P190 を接続した場合、“New for TWI-P190” を表示  
 YMT-1940A を接続した場合、“New for YMT-1940A” を表示  
 YMT-1940 を接続した場合、“New for YMT-1940” を表示

② スタジオ名及び系統名及び子機番号の指定

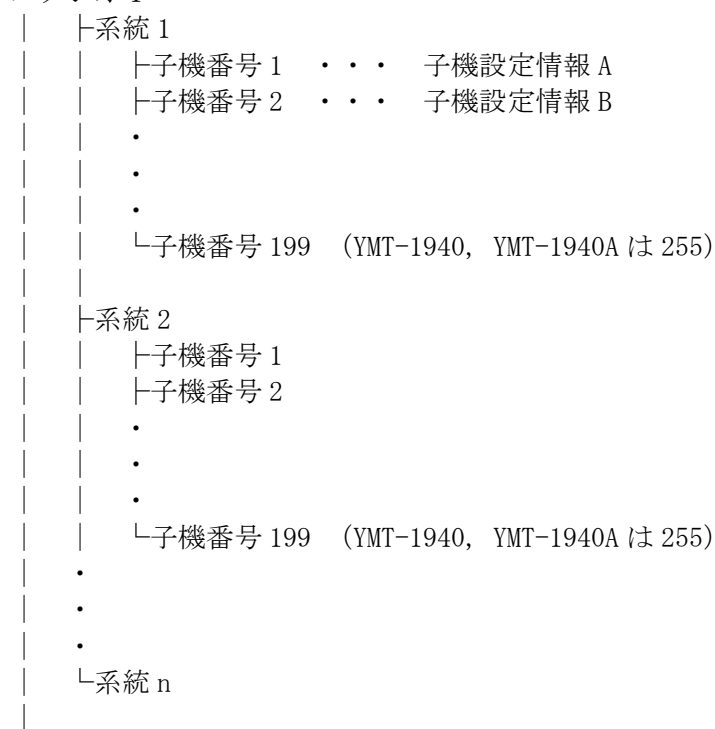
子機に書き込むスタジオ名、系統名、子機番号を指定できます。

STUDIO	...	スタジオ名を英数大文字 9 桁以内で指定できます。
SYSTEM	...	系統名を英数大文字 9 桁以内で指定できます。
PS No.	...	子機番号を指定できます。
		TWI-P190 : 001~199
		YMT-1940, YMT-1940A : 001~255

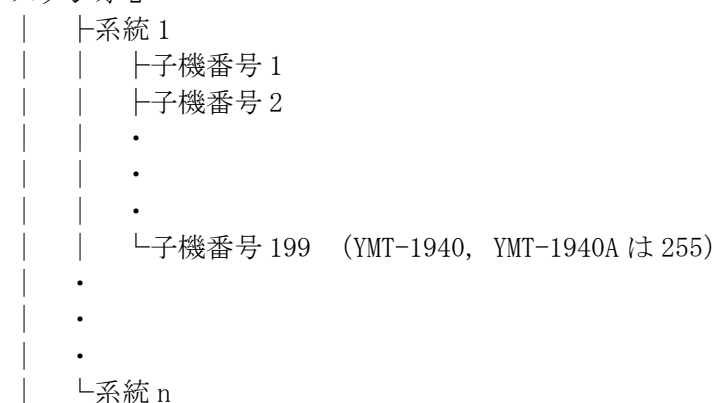
子機設定情報は下記のような階層構成で管理を行います。

<階層構成>

スタジオ 1



スタジオ 2



スタジオ n

・

・

・

スタジオ n

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

**【注意】**「スタジオ名－系統名－子機番号」の組合せで同一の子機設定情報が CSV ファイルに登録済の場合は、新規登録できません。

### ③ CSV ファイルの編集

子機設定情報を保存する CSV ファイルを、CSV 拡張子に関連付けされたアプリケーション(Excel 等)で編集できます。

「Open CSV File」ボタンを押すと、CSV 拡張子に関連付けされたアプリケーションが開きます。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	Model	STUDIO	SYSTEM	PS No.	Display luminance setup	VOX function setup	Low voltage alarm (BEEP sound)	Weak electric fi
2	50	STUDIO	SYSTEM	2	0	0	1	
3	50	STUDIO	SYSTEM	11	0	1	1	
4	50	STUDIO	SYSTEM	13	0	1	0	
5	50	STUDIO	SYSTEM	15	0	0	1	
6	50	STUDIO	SYSTEM	17	0	0	0	
7	50	STUDIO	SYSTEM	21	0	0	1	
8	50	STUDIO	SYSTEM	22	0	0	1	
9	50	STUDIO	SYSTEM	23	0	0	1	
10	50	STUDIO	SYSTEM	24	0	0	1	
11	50	STUDIO	SYSTEM	25	0	0	1	
12	50	STUDIO	SYSTEM	26	0	0	1	
13	50	STUDIO	SYSTEM	27	0	0	1	
14	50	STUDIO	SYSTEM	28	0	0	1	
15	50	STUDIO	SYSTEM	29	0	0	1	
16	50	STUDIO	SYSTEM	41	0	0	1	
17	50	STUDIO	SYSTEM	42	0	0	1	
18	50	STUDIO	SYSTEM	43	0	0	1	
19	50	STUDIO	SYSTEM	47	0	0	1	
20	50	STUDIO	SYSTEM	48	0	0	1	
21	50	STUDIO	SYSTEM	49	0	0	1	
22	50	STUDIO	SYSTEM	50	0	0	1	
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

子機設定情報を編集できます。(例:Excel)

【注意】CSV ファイル編集は本ソフトウェアの操作を行うことができません。Excel 等のマルチドキュメントインタフェース(1つのウィンドウ内で複数のファイルを開くことができるアプリケーション)の場合は、CSV ファイルだけでなく、CSV ファイルを開いているアプリケーションを閉じるまで本ソフトウェアの操作を行うことができません。

④ 子機設定情報の指定 (左列)

PS の表示パネル輝度設定、VOX 機能設定、BEEP 音の減電圧警報音、BEEP 音の弱電界警報音、BEEP 音の呼び出し音、BEEP 音量設定、アイソレーション設定、各電池に対応した残量表示設定、LED 設定(TALK ON)、マイク音量設定を選択できます。

Display luminance setup . . . 表示パネル輝度設定の **Standard**(標準)または **High**(明)を選択できます。

【注意①】High を PS に設定した場合は、使用時間が通常より短くなります。

【注意②】YMT-1940A, TWI-P190 を USB に接続した場合は、この項目は表示されません。

VOX function setup . . . VOX 機能設定の **ON** または **OFF** を選択できます。

Low voltage alarm . . . BEEP 音の減電圧警報音の **ON** または **OFF** を選択できます。

Weak electric field alarm . . . BEEP 音の弱電界警報音の **ON** または **OFF** を選択できます。

CS call tone . . . BEEP 音の呼び出し音の **ON** または **OFF** を選択できます。

Volume setup . . .	BEEP 音量設定の <b>Standard</b> (標準)または <b>Low</b> (小)を選択できます。
Isolation setup . . .	アイソレーション設定の <b>ON</b> または <b>OFF</b> を選択できます。 【注意】 Operation mode(モード選択)にて Type1 receiver mode(旧受令モード)、Type2 receiver mode(新受令モード)を選択した場合は、OFF 固定となります。
Battery indicator mode . . .	電池残量表示のための電池タイプを選択します。 YMT-1940/YMT-1940A の場合、 <b>YBA-4120</b> または <b>PBA-4120</b> を選択できます。 TWI-P190 の場合、 <b>Alkaline Battery</b> または <b>Ni-MH Battery</b> を選択できます。
LED setup (TALK ON) . . .	LED 設定(TALK ON)の <b>Green</b> -> <b>Red</b> (緑 -> 赤)または <b>Red</b> -> <b>Green</b> (赤 -> 緑)を選択できます。
Mic gain setup . . .	マイク音量設定の <b>Standard</b> (標準)または <b>Low</b> (小)を選択できます。

⑤ 子機設定情報の指定 (中列)

モード選択、グループ設定、ハンドオーバーレベル設定、TWI-P190 では RF パワーレベル、高音強調、エンハンサー、UTL スイッチ機能設定を選択できます。

Operation mode . . .	モード選択の <b>PS mode</b> (子機モード)または <b>Type1 receiver mode</b> (旧受令モード)または <b>Type2 receiver mode</b> (新受令モード)を選択できます。
Group setup . . .	グループ設定を 1~4 まで選択できます。
Hand-over threshold level . . .	ハンドオーバーレベル設定の <b>Low</b> (低)または <b>Medium</b> (中)または <b>High</b> (高)を選択できます。 ハンドオーバーレベルはハンドオーバーを開始する受信電界強度レベルを表します。 弱の場合は、受信電波が弱い状態でも親機を切り替えず通信状態を維持します。

(以下は TWI-P190 で設定可能です)

Audio Loud setup . . .	電源投入時に大音量モードの設定を選択できるようにします。 <b>ON</b> または <b>OFF</b> を選択でき、ON 選択で、起動時に大音量モードの設定を選択できます。
Audio treble setup . . .	高音強調フィルタの <b>OFF</b> またはフィルタの強さ <b>Boost1</b> (弱)、 <b>Boost2</b> (強)を選択できます。
Audio enhancer setup . . .	エンハンサーの <b>ON</b> または <b>OFF</b> を選択できます。
RF power level . . .	RF パワーレベルの <b>always-MAX</b> (最大レベル)または <b>AUTO</b> (自動レベル設定)を選択できます。

LCD backlight (UTL SW) . . .	子機の運用中に UTL スイッチを短押しすると LCD バックライトを 5 秒間点灯する機能の <b>ON</b> または <b>OFF</b> を選択できます。
Setting lock . . .	子機の UTL スイッチによる設定変更を制限 (ロック) する設定で、 <b>ON</b> または <b>OFF</b> を選択できます。ON を選択しても、運用中の UTL スイッチ操作は可能です。
UTL switch lock . . .	子機運用中の UTL スイッチ操作を制限 (ロック) する設定です。 <b>ON</b> または <b>OFF</b> を選択できます。
UTL switch select A/B/C . . .	<p>子機 (PS) 本体の UTL スイッチで設定できる機能を以下から選択できます。ただし、Operation mode が Type1 receiver mode または Type2 receiver mode の場合、および、UTL switch lock が ON の場合は、選択することができません。</p> <p><b>OFF</b> : 機能オフ</p> <p><b>MOB1/MOB2 Alt. select</b> : スイッチ長押しのために MOB1/MOB2 を切り替えます。</p> <p><b>MOB1 select</b> : スイッチ長押し時に MOB1 に切り替えます。</p> <p><b>MOB2 select</b> : スイッチ長押し時に MOB2 に切り替えます。</p> <p>MOB1/MOB2 の切り替えは PS No. の 100 番台の数字を 0 ⇔ 1 に切り替えることにより行われます。ただし、PS No. が 100 の場合は切り替えを行いません。</p> <p><b>Reconnection</b> : スイッチ長押し時に再接続を行います。</p> <p><b>Iso. Switch</b> : スイッチの長押し時にアイソレーション機能 ON/OFF を交互に切り替えます。</p> <p>Isolation setup が ON に設定されているときのみ選択可能です。</p>

⑥ 子機設定情報の指定 (右列)

PS の接続親機番号別親機 ID、接続親機番号を選択できます。

CS ID . . .	<p>接続親機番号 1~16 ごとの親機 ID を <b>9 桁の数字</b> で指定できます。</p> <p><b>【注意】</b> 接続親機番号 1~16 の中で 1 つ以上に親機 ID (0 以外) を指定してください。CS No. selection (接続親機番号) にて選択した接続親機番号の親機 ID は必ず指定してください。</p>
CS No. selection . . .	接続親機番号を <b>0~16</b> まで選択できます。

⑦ 子機設定情報の書き込み

「Write Setting」ボタンを押すと、USB に接続した PS に②④⑤⑥で指定した各項目を書き込みます。

【注意】 PS を USB に接続していない場合、PS 接続待ち画面(使用方法「起動」章参照)が表示されます。PS を USB に接続してください。

書き込み完了後、CSV ファイルに新規登録します。

⑧ 子機設定情報の CSV ファイルへの保存

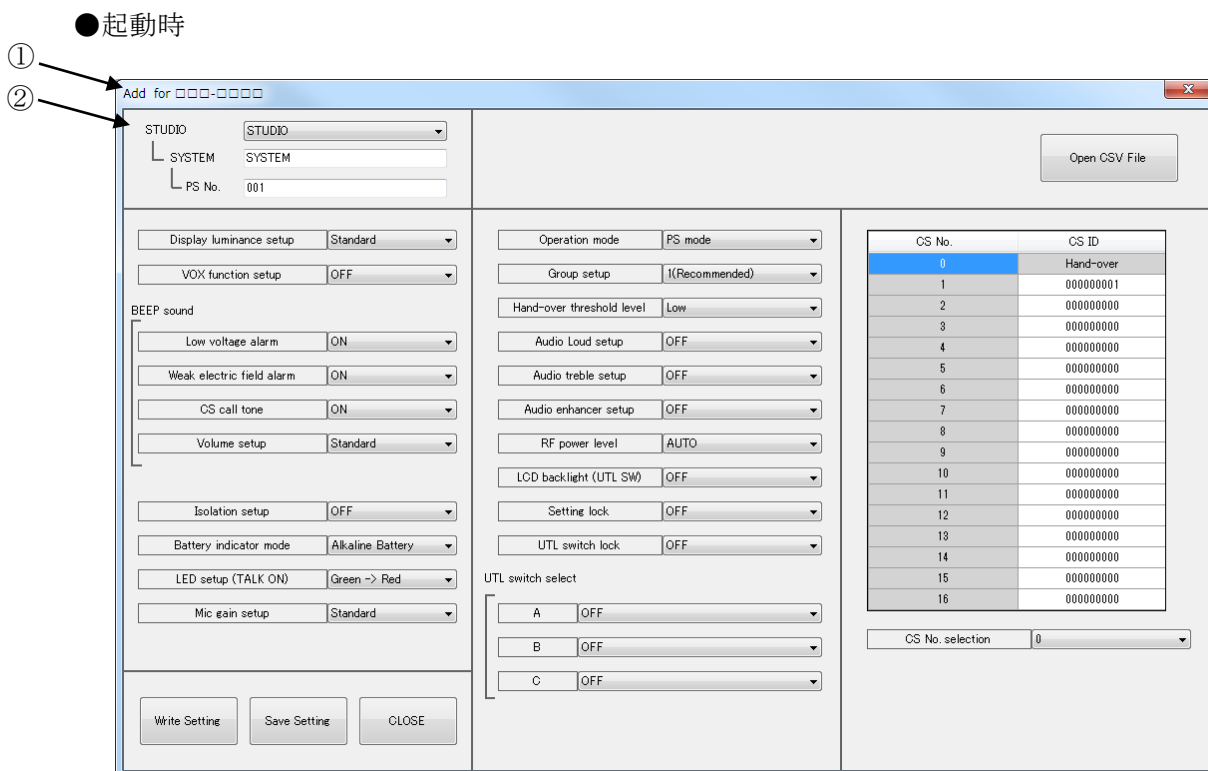
「Save Setting」ボタンを押すと、USB に接続した PS に②④⑤⑥で指定した各項目を CSV ファイルに新規登録します。

⑨ 終了

「CLOSE」ボタンを押すと、子機設定画面(新規登録)が終了し、メイン画面が表示されます。

(4) 子機設定画面(系統追加)

子機設定画面(系統追加)では CSV ファイルに登録済のスタジオ内の系統設定を同 CSV ファイルに追加登録し、追加登録した子機設定情報を、USB に接続した PS に書き込むことができます。



上図は、全ての設定項目を表示しています。

USB 接続する機種(TWI-P190/YMT-1940/YMT-1940A)によって、表示される内容が異なります。

① USB で接続した子機の機種名表示

TWI-P190 を接続した場合、“Add for TWI-P190” を表示

YMT-1940A を接続した場合、“Add for YMT-1940A” を表示

YMT-1940 を接続した場合、“Add for YMT-1940” を表示

② スタジオ名及び系統名及び子機番号の指定

系統設定を追加登録する、登録済のスタジオ名を選択できます。該当スタジオに追加登録する系統名、子機番号を指定できます。

STUDIO . . .

登録済のスタジオ名を選択できます。

SYSTEM . . .

系統名を英数大文字 9 桁以内で指定できます。

PS No. . . .

子機番号を指定できます。

TWI-P190 : 001~199

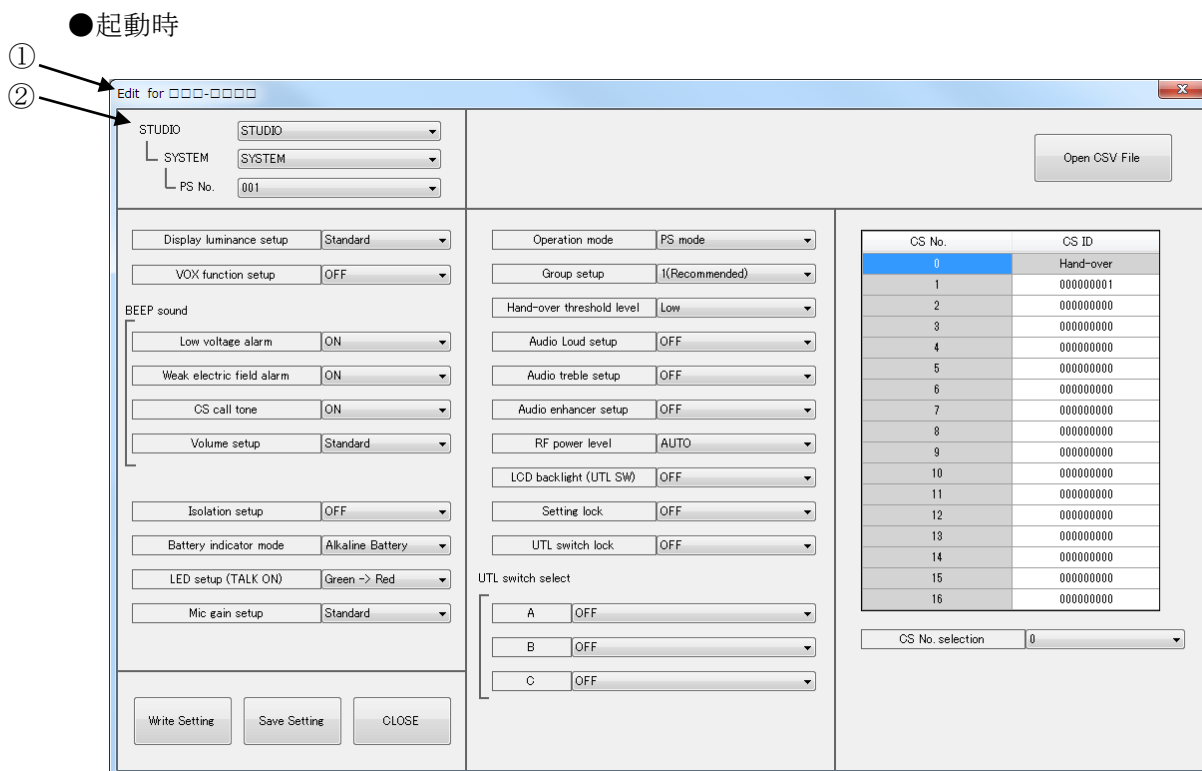
YMT-1940, YMT-1940A : 001~255

【注意】「スタジオ名—系統名—子機番号」の組合せで同一の子機設定情報が CSV ファイルに登録済の場合は、系統設定の追加登録ができません。

他の操作については「子機設定画面(新規登録)」と同様となるため「子機設定画面(新規登録)」章を参照ください。

(5) 子機設定画面(編集)

子機設定画面(編集)では CSV ファイルに登録済の子機設定情報を編集し、同 CSV ファイルに保存し、編集した子機設定情報を、USB に接続した PS に書き込むことができます。



上図は、全ての設定項目を表示しています。

USB 接続する機種(TWI-P190/YMT-1940/YMT-1940A)によって、表示される内容が異なります。

① USB で接続した子機の機種名表示

TWI-P190 を接続した場合、“Edit for TWI-P190” を表示

YMT-1940A を接続した場合、“Edit for YMT-1940A” を表示

YMT-1940 を接続した場合、“Edit for YMT-1940” を表示

② スタジオ名及び系統名及び子機番号の指定

子機設定情報を編集するスタジオ名、系統名、子機番号を選択できます。

STUDIO . . .

登録済のスタジオ名を選択できます。

SYSTEM . . .

登録済の系統名を選択できます。

PS No. . . .

登録済の子機番号を選択できます。

選択できる子機番号の範囲は以下のとおりです。

TWI-P190 : 001~199

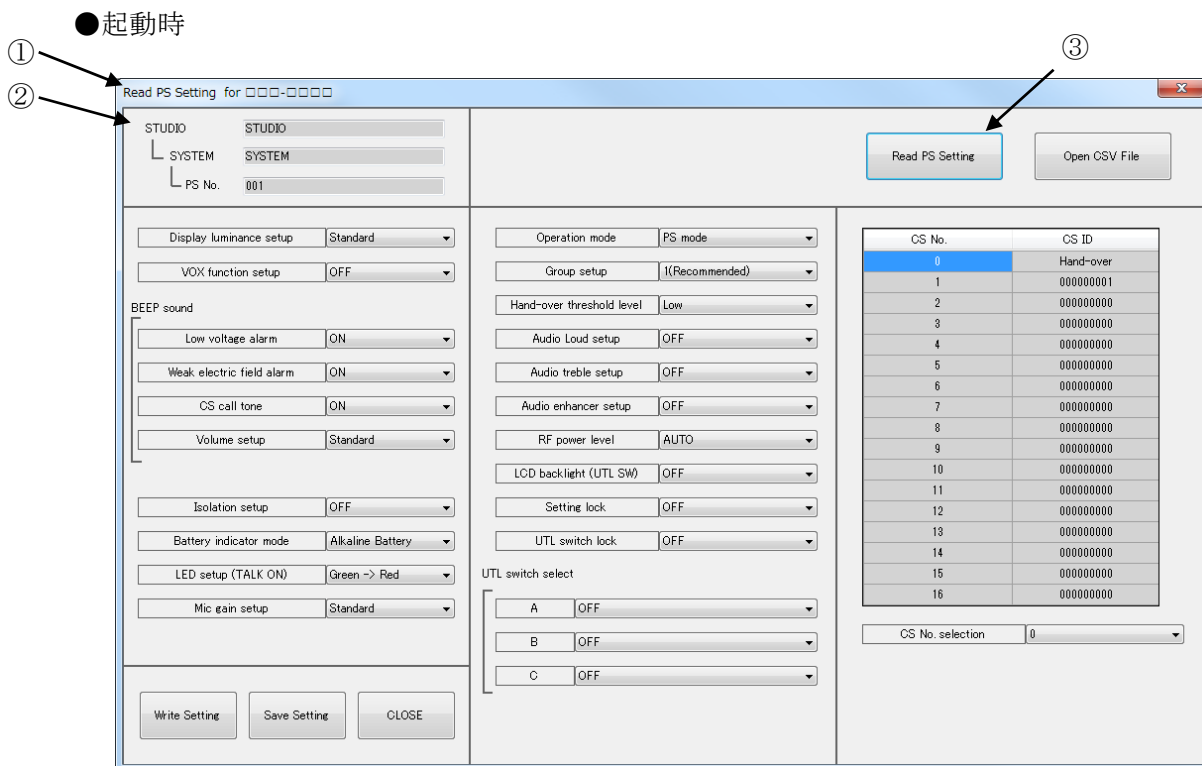
YMT-1940, YMT-1940A : 001~255

他の操作については「子機設定画面(新規登録)」と同様となるため「子機設定画面(新規登録)」章を参照ください。



(6) 子機設定画面(読み出し)

子機設定画面(読み出し)では USB に接続した PS の子機設定情報を読み出し、読み出した子機設定情報を CSV ファイルに保存し、保存した子機設定情報を、USB に接続した PS に書き込むことができます。



上図は、全ての設定項目を表示しています。

USB 接続する機種(TWI-P190/YMT-1940/YMT-1940A)によって、表示される内容が異なります。

① USB で接続した子機の機種名表示

TWI-P190 を接続した場合、“Read PS Setting for TWI-P190” を表示

YMT-1940A を接続した場合、“Read PS Setting for YMT-1940A” を表示

YMT-1940 を接続した場合、“Read PS Setting for YMT-1940” を表示

② スタジオ名及び系統名及び子機番号の表示

USB に接続した PS から読み出した子機設定情報のスタジオ名、系統名、子機番号が表示されます。

STUDIO . . . . . 読み出した子機設定情報のスタジオ名が表示されます。

SYSTEM . . . . . 読み出した子機設定情報の系統名が表示されます。

PS No. . . . . 読み出した子機設定情報の子機番号が表示されます。

【注意】子機設定画面(読み出し)ではスタジオ名、系統名、子機番号の編集ができません。

③ 子機設定情報の読み出し

「Read PS Setting」ボタンを押すと、USB に接続した PS の子機設定情報を読み出します。

【注意】PS を USB に接続していない場合、PS 接続待ち画面(使用方法「起動」章参照)が表示されます。PS を USB に接続してください。

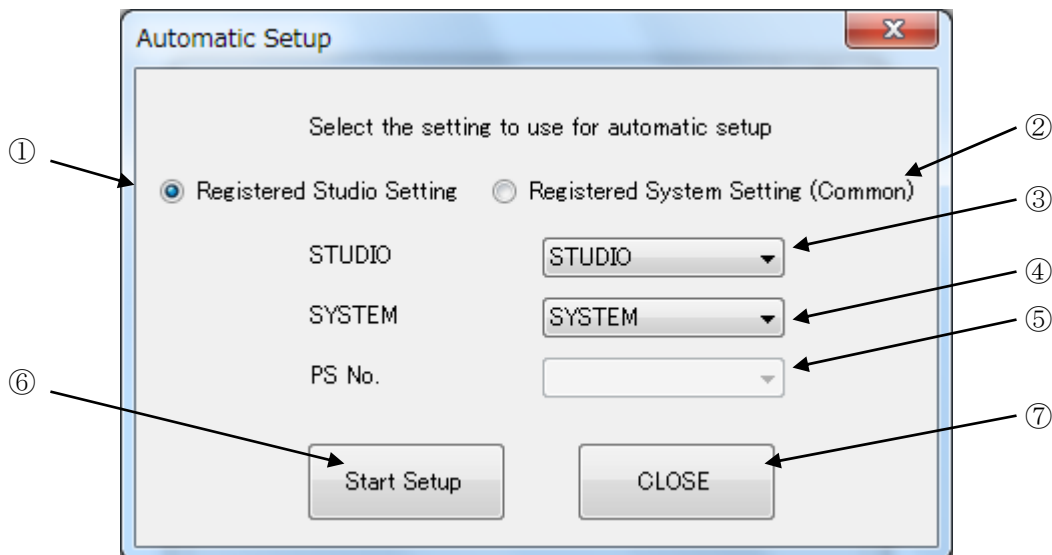
他の操作については「子機設定画面(新規登録)」と同様となるため「子機設定画面(新規登録)」章を参照ください。

ただし、「子機設定画面(読み出し)」では親機 ID(CS ID)の編集を行うことができません。

## (7) 自動設定画面

自動設定画面(新規登録)では CSV ファイルに登録済の子機設定情報を、USB に接続した PS に自動的に書き込むことができます。複数の PS を順次、接続することでスタジオ内での設定及び共通系統設定を自動的に行うことができます。

### ●起動時



- ① 登録済スタジオを選択した自動設定モード  
登録済のスタジオ名を選択して自動設定を行うモードを選択できます。当モードを選択することで③④を指定する必要があります。
- ② 登録済系統を選択した自動設定モード  
登録済の系統名を選択して自動設定を行うモードを選択できます。当モードを選択することで③④⑤を指定する必要があります。
- ③ スタジオ名の指定 ※  
自動設定を行う登録済のスタジオ名を選択できます。
- ④ 系統名の指定 ※  
自動設定を行う登録済の系統名を選択できます。
- ⑤ 子機番号の指定 ※  
自動設定を行う登録済の子機番号を選択できます。
- ⑥ 自動設定  
「Start Setup」ボタンを押すと、自動設定を開始します。
- ⑦ 終了  
「CLOSE」ボタンを押すと、自動設定画面が終了し、メイン画面が表示されます。

※TWI-P190 では、CSV ファイルのデータのうち PS No. (子機番号)が 001～199 のデータが選択可能になります。

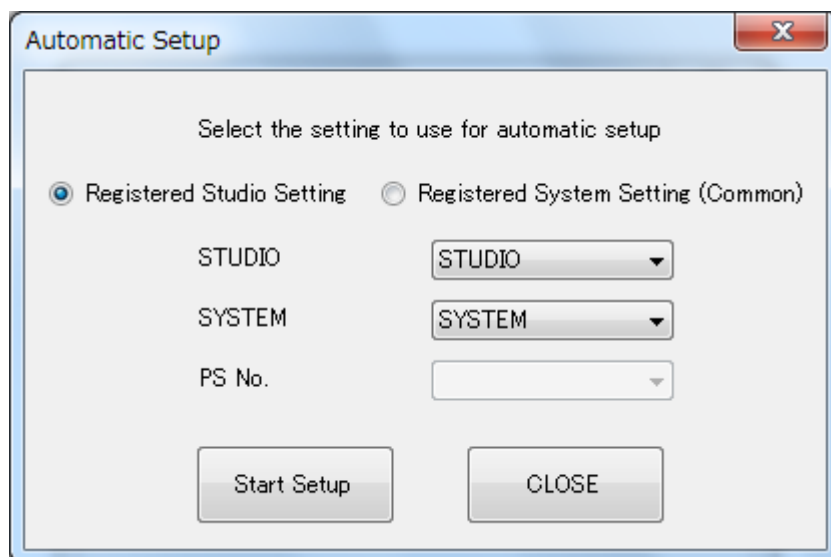
(8) 登録済スタジオを選択した自動設定(子機番号変更なし)

CSV ファイルに保存された子機設定情報の[スタジオ名、系統名]の組合せを選択し、USB に接続した PS に、該当する子機設定情報を書き込みます。

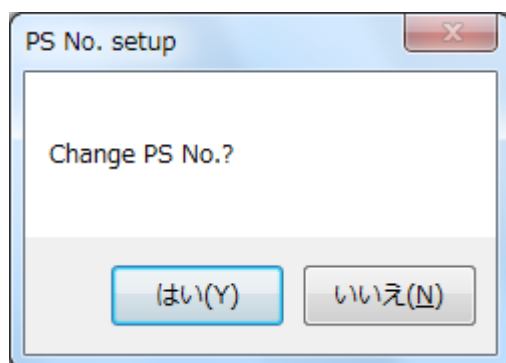
選択した[スタジオ名、系統名]の組合せの子機設定情報が CSV ファイルに保存された数だけの書き込みを連続して行います。

該当する子機設定情報の子機番号を使用せず、USB に接続した PS の子機番号の変更を行いません。

以下の手順に従って自動設定を行ってください。



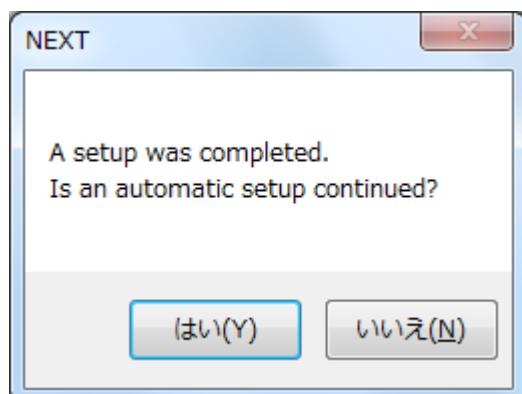
- ① 「Registered Studio Setting」を選択し、スタジオ名、系統名を選択し、「Start Setup」を選択します。



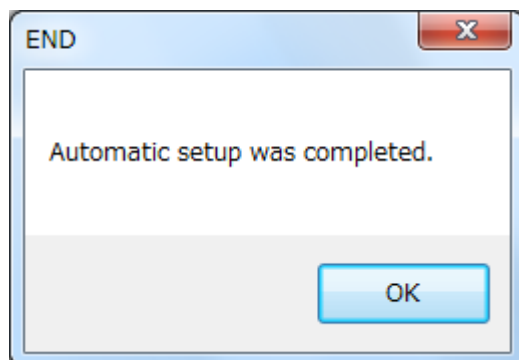
- ② 「いいえ」を選択します。

- ③ USB に接続した PS に選択した子機設定情報を書き込みます。

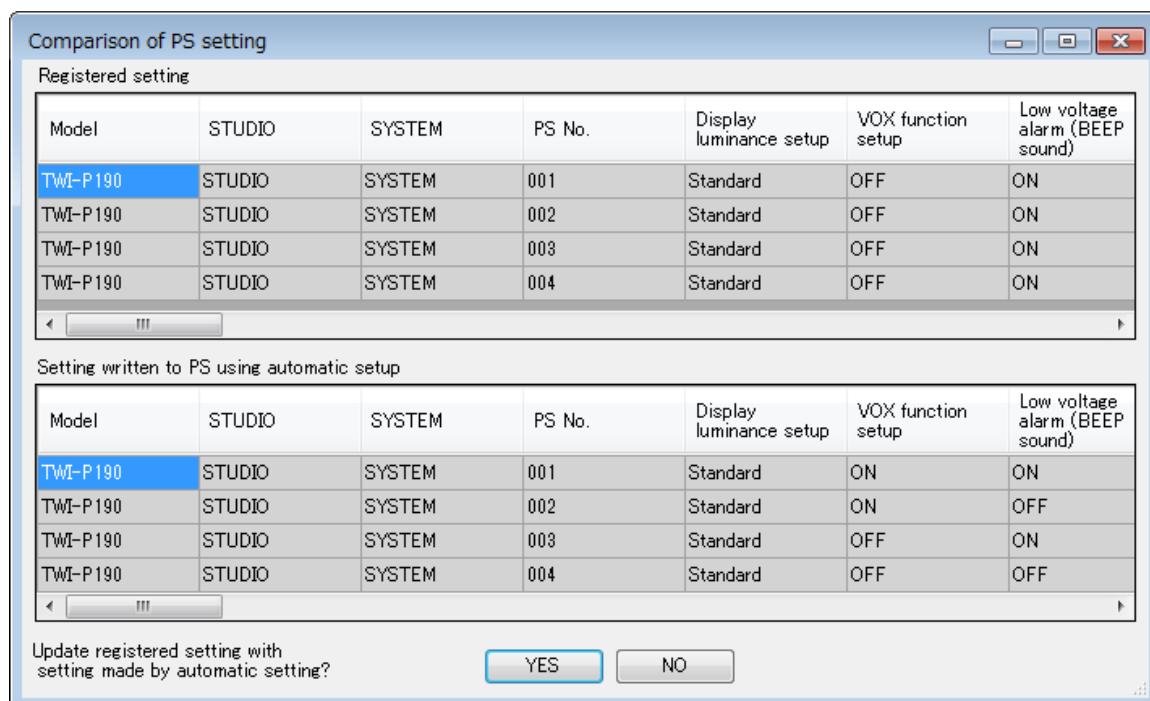
【注意】PS を USB に接続していない場合、PS 接続待ち画面(使用方法「起動」章参照)が表示されます。PS を USB に接続してください。



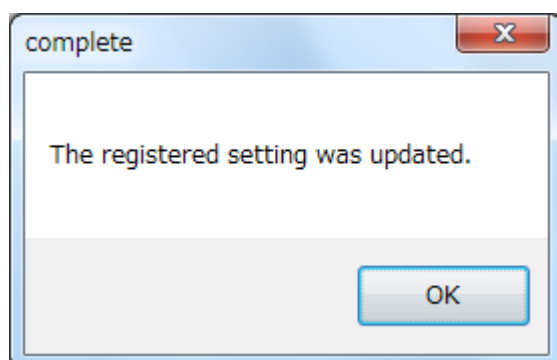
- ④ 選択した[スタジオ名、系統名]の組合せが CSV ファイルに複数保存されている場合は、継続して他の PS に子機設定情報を書き込むことができます。PS を USB から外し、他の PS を USB に接続して「はい」を選択します。自動設定を途中で終了する場合は、「いいえ」を選択し⑥に遷移します。該当回数の書き込みを終了すると⑤に遷移します。



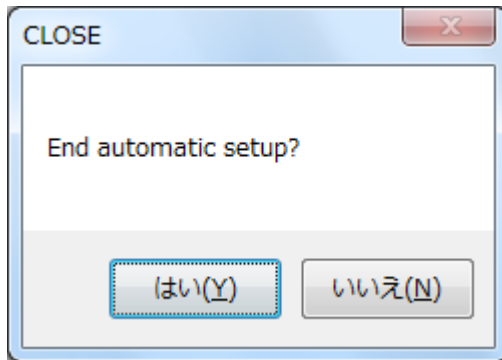
- ⑤ 「OK」を選択します。



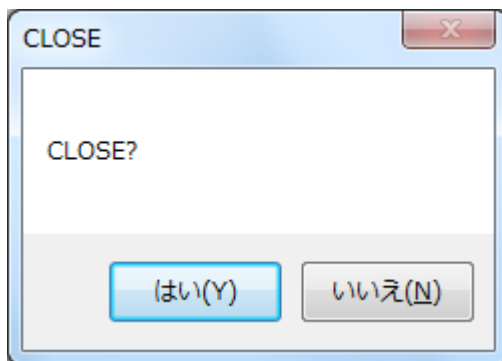
- ⑥ 差分リストが表示されます。Registered setting リストには設定前の子機設定情報が、Setting written to PS using automatic setup リストには自動設定で変更された子機設定情報が表示されます。「YES」を選択した場合、リストに表示されている CSV ファイルの子機設定情報が追加あるいは上書きされ、⑦に遷移します。「NO」を選択した場合、⑧に遷移します。



- ⑦ 「OK」を選択します。



- ⑧ 自動設定を終了の問い合わせが表示されます。「はい」を選択した場合は、⑨に遷移します。「いいえ」を選択した場合は、①に遷移します。



- ⑨ 自動設定画面を閉じるかどうかの問い合わせが表示されます。「はい」を選択した場合は、自動設定画面を閉じ自動設定を終了します。「いいえ」を選択した場合は、①に遷移します。

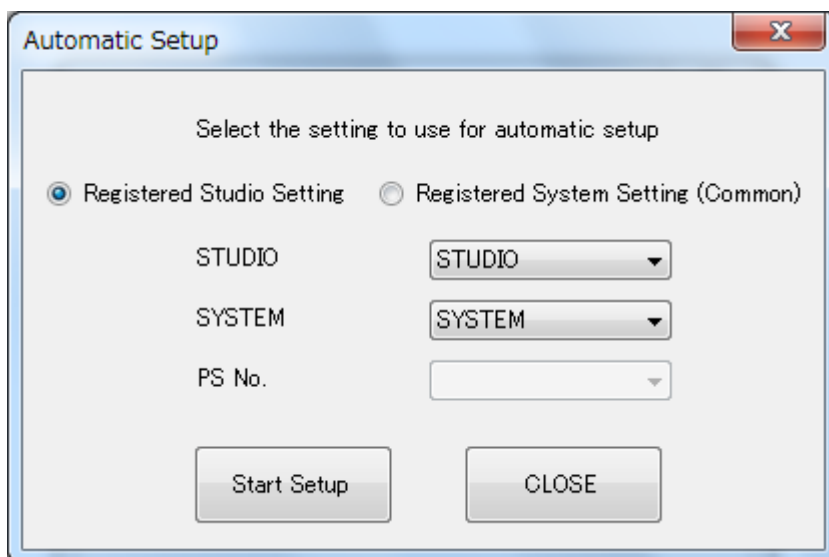
(9) 登録済スタジオを選択した自動設定(子機番号自動インクリメント)

CSV ファイルに保存された子機設定情報の[スタジオ名、系統名]の組合せを選択し、USB に接続した PS に、該当する子機設定情報を書き込みます。

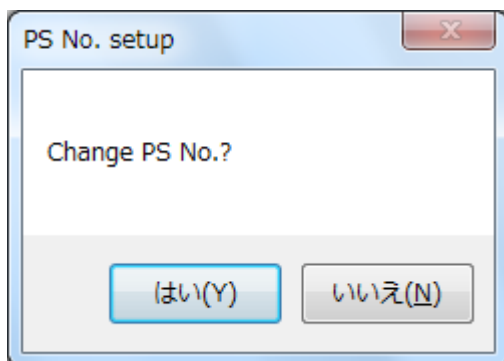
選択した[スタジオ名、系統名]の組合せの子機設定情報が CSV ファイルに保存された数だけの書き込みを連続して行います。

該当する子機設定情報の子機番号を使用し、1 回目の書き込みでは該当する子機番号を書き込みます。2 回目以降の書き込みでは順次、子機番号をインクリメントして書き込みます。

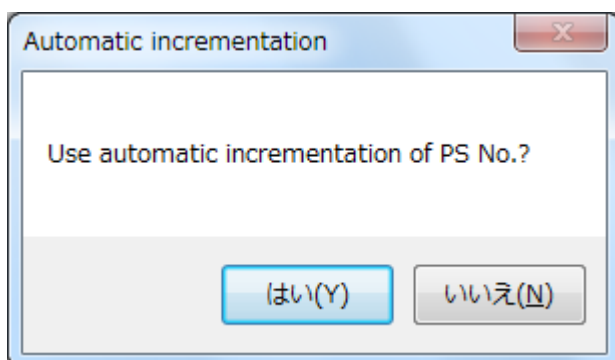
以下の手順に従って自動設定を行ってください。



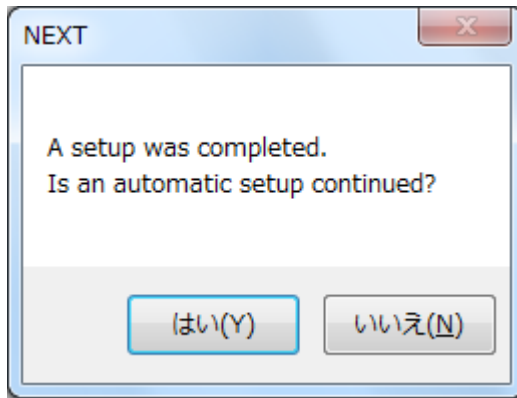
- ① 「Registered Studio Setting」を選択し、スタジオ名、系統名を選択し、「Start Setup」を選択します。



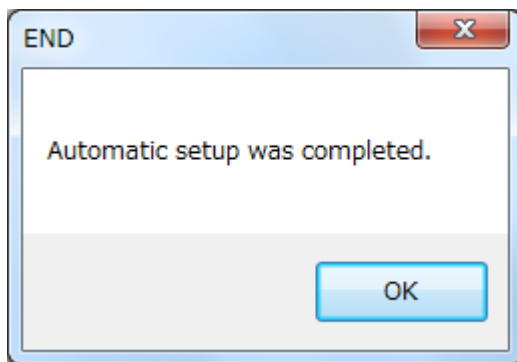
- ② 「はい」を選択します。



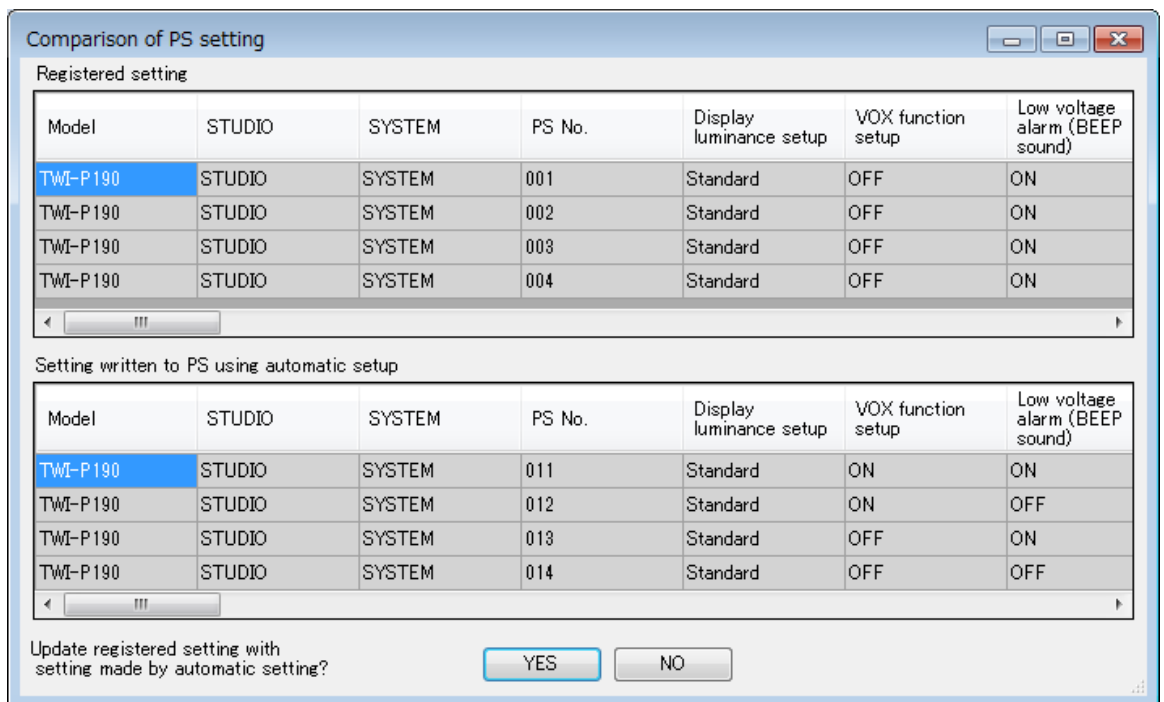
- ③ 「はい」を選択します。
- ④ USB に接続した PS に選択した子機設定情報を書き込みます。  
【注意】PS を USB に接続していない場合、PS 接続待ち画面(使用方法「起動」章参照)が表示されます。PS を USB に接続してください。



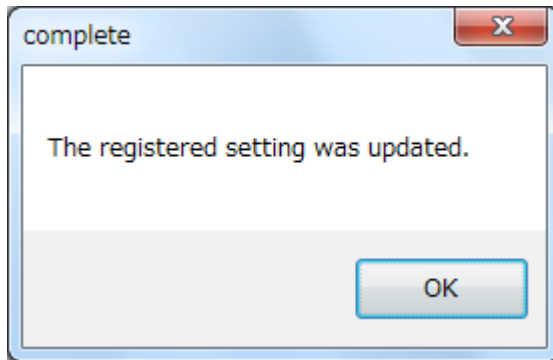
- ⑤ 選択した[スタジオ名、システム名]の組合せが CSV ファイルに複数保存されている場合は、継続して他の PS に子機設定情報を書き込むことができます。PS を USB から外し、他の PS を USB に接続して「はい」を選択します。自動設定を途中で終了する場合は、「いいえ」を選択し⑦に遷移します。該当回数の書き込みを終了すると⑥に遷移します。



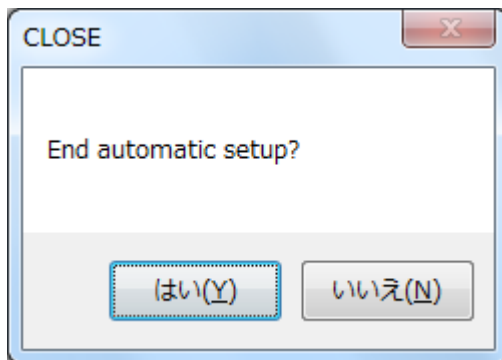
- ⑥ 「OK」を選択します。



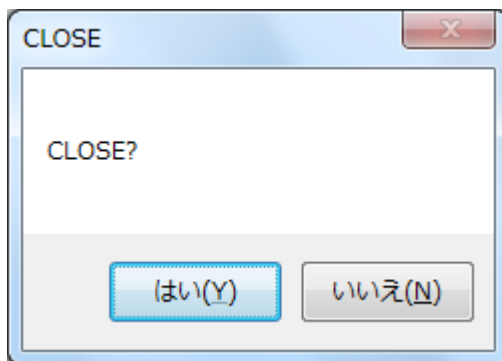
- ⑦ 差分リストが表示されます。Registered setting リストには設定前の子機設定情報が、Setting written to PS using automatic setup リストには自動設定で変更された子機設定情報が表示されます。「YES」を選択した場合、リストに表示されている CSV ファイルの子機設定情報が追加あるいは上書きされ、⑧に遷移します。「NO」を選択した場合、⑨に遷移します。



⑧ 「OK」を選択します。



⑨ 自動設定を終了の問い合わせが表示されます。「はい」を選択した場合は、⑩に遷移します。「いいえ」を選択した場合は、①に遷移します。

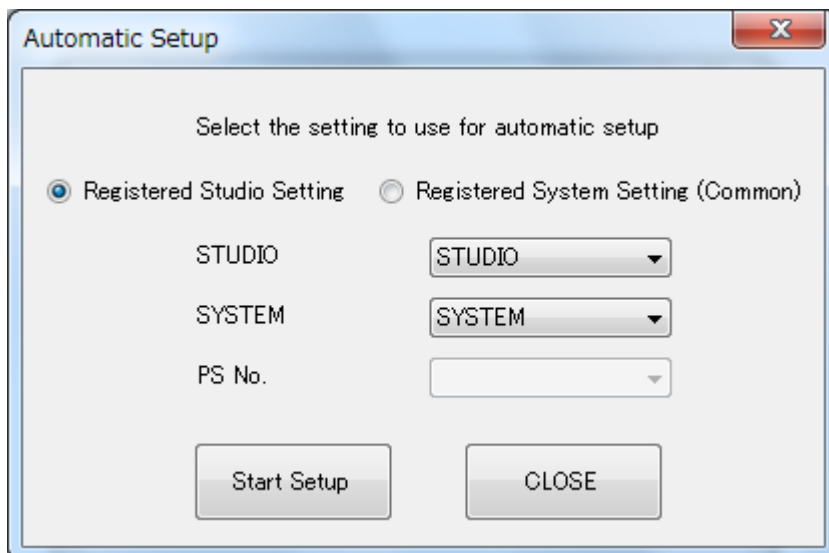


⑩ 自動設定画面を閉じるかどうかの問い合わせが表示されます。「はい」を選択した場合は、自動設定画面を閉じ自動設定を終了します。「いいえ」を選択した場合は、①に遷移します。

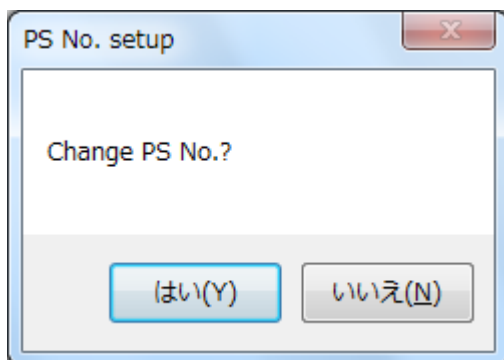


(10) 登録済スタジオを選択した自動設定(子機番号都度設定)

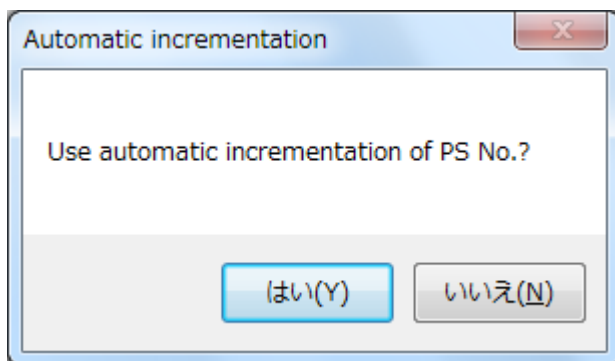
CSV ファイルに保存された子機設定情報の[スタジオ名、系統名]の組合せを選択し、USB に接続した PS に、該当する子機設定情報を書き込みます。  
選択した[スタジオ名、系統名]の組合せの子機設定情報が CSV ファイルに保存された数だけの書き込みを連続して行います。  
該当する子機設定情報の子機番号を使用せず、子機番号を都度指定して書き込みます。  
以下の手順に従って自動設定を行ってください。



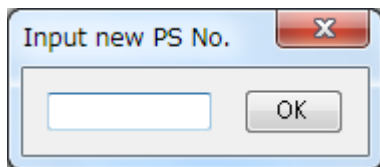
- ① 「Registered Studio Setting」を選択し、スタジオ名、系統名を選択し、「Start Setup」を選択します。



- ② 「はい」を選択します。

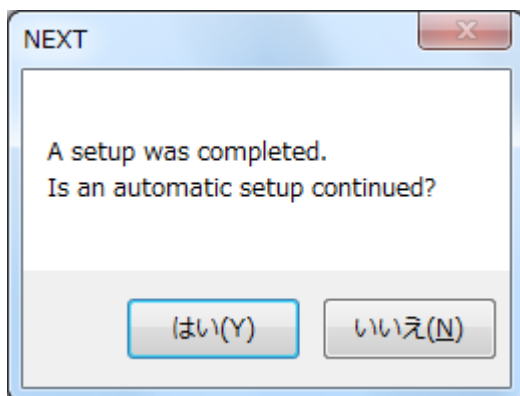


- ③ 「いいえ」を選択します。

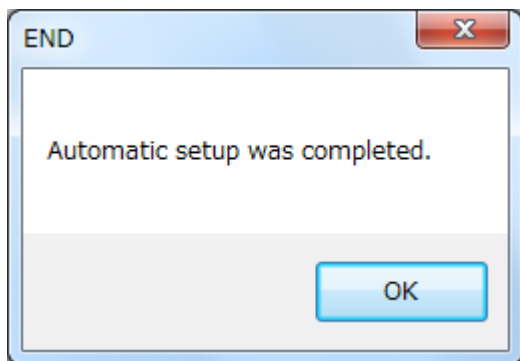


- ④ 子機番号を指定し、「OK」を選択します。  
入力できる子機番号の範囲は以下のとおりです。
- |                       |         |
|-----------------------|---------|
| TWI-P190 :            | 001~199 |
| YMT-1940, YMT-1940A : | 001~255 |

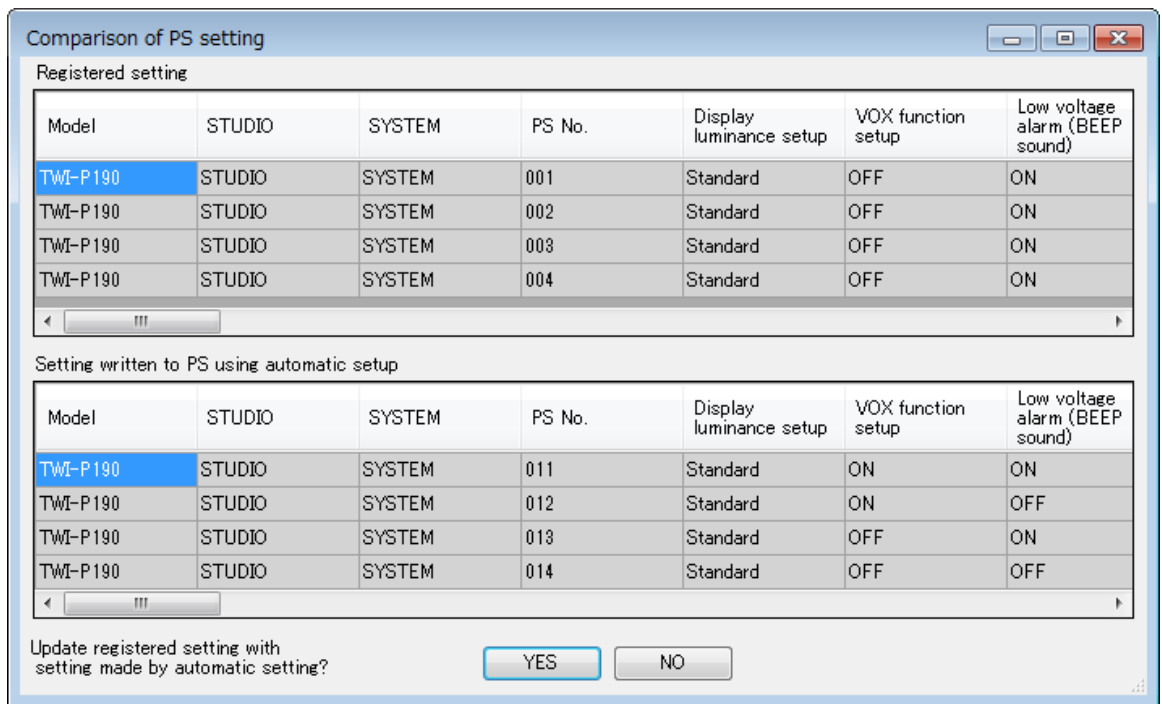
- ⑤ USB に接続した PS に選択した子機設定情報を書き込みます。  
【注意】 PS を USB に接続していない場合、PS 接続待ち画面(使用方法「起動」章参照)が表示されます。PS を USB に接続してください。



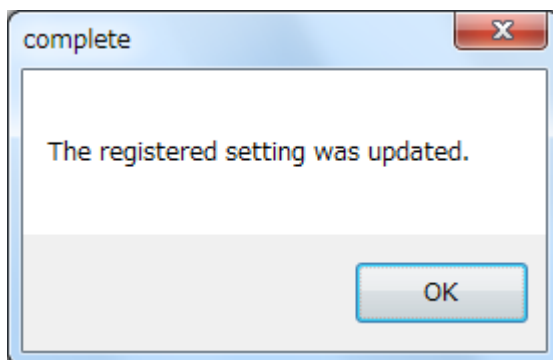
- ⑥ 選択した[スタジオ名、系統名]の組合せが CSV ファイルに複数保存されている場合は、継続して他の PS に子機設定情報を書き込むことができます。PS を USB から外し、他の PS を USB に接続して「はい」を選択すると再度④に遷移します。自動設定を途中で終了する場合は、「いいえ」を選択し⑧に遷移します。該当回数の書き込みを終了すると⑦に遷移します。



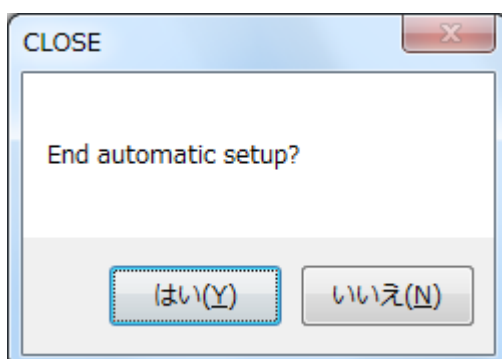
- ⑦ 「OK」を選択します。



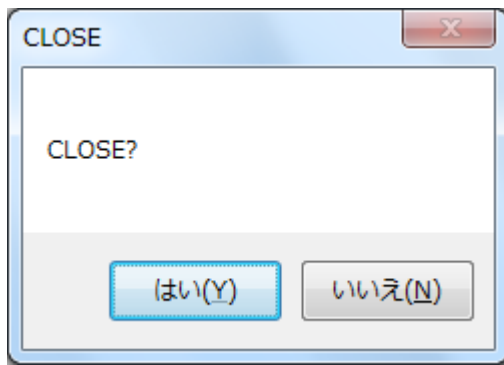
- ⑧ 差分リストが表示されます。Registered setting リストには設定前の子機設定情報が、Setting written to PS using automatic setup リストには自動設定で変更された子機設定情報が表示されます。「YES」を選択した場合、リストに表示されている CSV ファイルの子機設定情報が追加あるいは上書きされ、⑨に遷移します。「NO」を選択した場合、⑩に遷移します。



- ⑨ 「OK」を選択します。



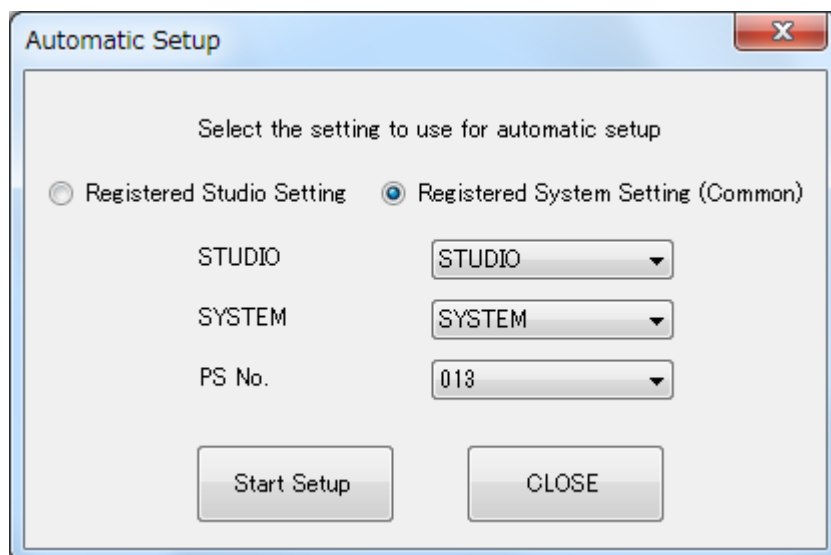
- ⑩ 自動設定を終了の問い合わせが表示されます。「はい」を選択した場合は、⑪に遷移します。「いいえ」を選択した場合は、①に遷移します。



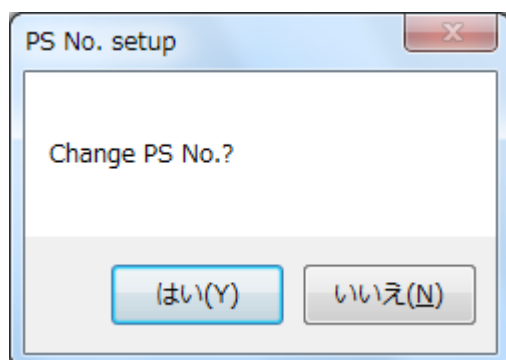
- ① 自動設定画面を閉じるかどうかの問い合わせが表示されます。「はい」を選択した場合は、自動設定画面を閉じ自動設定を終了します。「いいえ」を選択した場合は、①に遷移します。

(11) 登録済システムを選択した自動設定(子機番号変更なし)

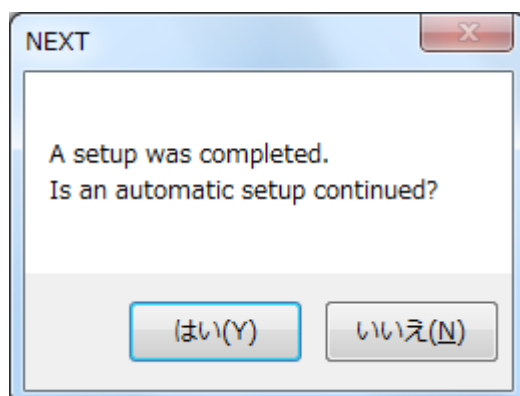
CSV ファイルに保存された子機設定情報の[スタジオ名、システム名、子機番号]の組合せを選択し、USB に接続した PS に、該当する子機設定情報を連続して書き込みます。  
該当する子機設定情報の子機番号を使用せず、USB に接続した PS の子機番号の変更を行いません。  
以下の手順に従って自動設定を行ってください。



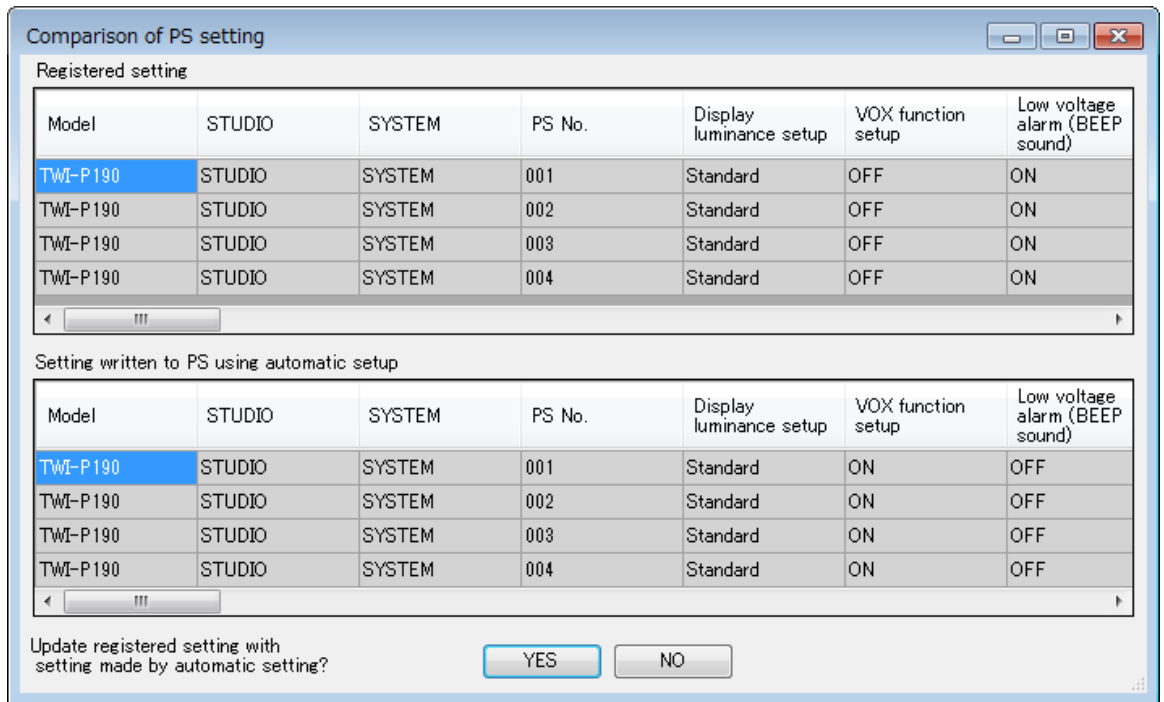
- ① 「Registered System Setting (Common)」を選択し、スタジオ名、システム名、子機番号を選択し、「Start Setup」を選択します。



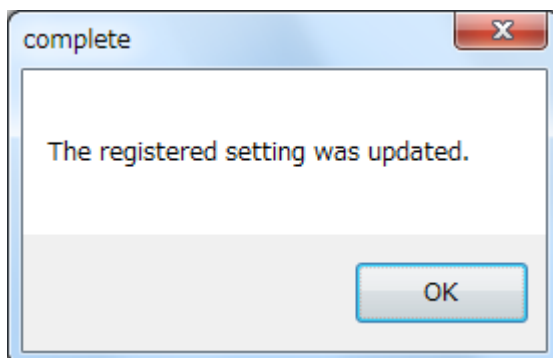
- ② 「いいえ」を選択します。  
③ USB に接続した PS に選択した子機設定情報を書き込みます。  
【注意】PS を USB に接続していない場合、PS 接続待ち画面(使用方法「起動」章参照)が表示されます。PS を USB に接続してください。



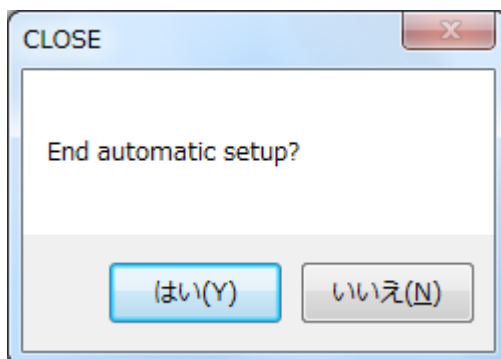
- ④ 継続して他の PS に子機設定情報を書き込む場合は、PS を USB から外し、他の PS を USB に接続して「はい」を選択します。自動設定を終了する場合は、「いいえ」を選択します。



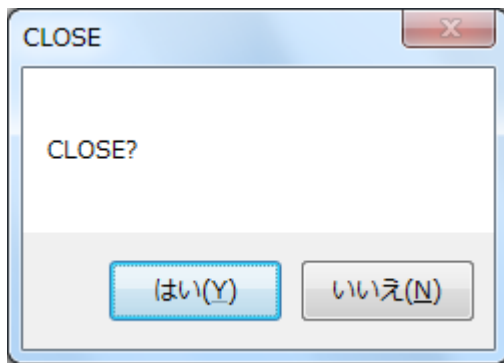
- ⑤ 差分リストが表示されます。Registered setting リストには設定前の子機設定情報が、Setting written to PS using automatic setup リストには自動設定で変更された子機設定情報が表示されます。「YES」を選択した場合、リストに表示されている CSV ファイルの子機設定情報が追加あるいは上書きされ、⑥に遷移します。「NO」を選択した場合、⑦に遷移します。



- ⑥ 「OK」を選択します。



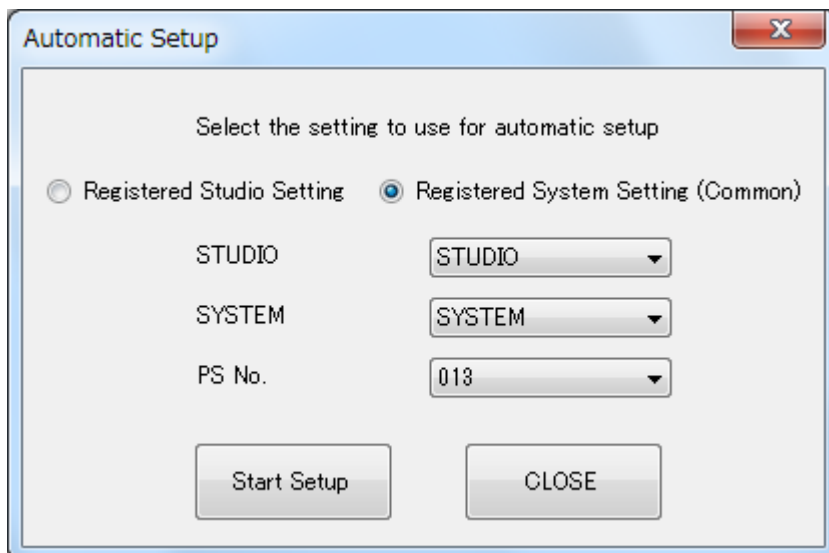
- ⑦ 自動設定を終了の問い合わせが表示されます。「はい」を選択した場合は、⑧に遷移します。「いいえ」を選択した場合は、①に遷移します。



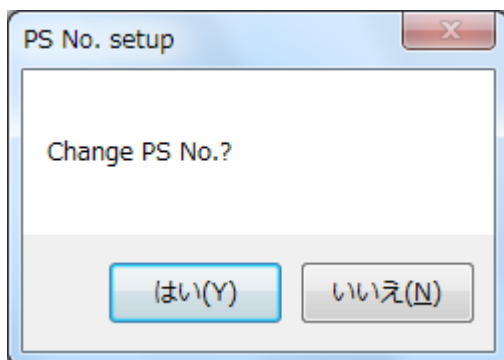
- ⑧ 自動設定画面を閉じるかどうかの問い合わせが表示されます。「はい」を選択した場合は、自動設定画面を閉じ自動設定を終了します。「いいえ」を選択した場合は、①に遷移します。

(12) 登録済システムを選択した自動設定(子機番号自動インクリメント)

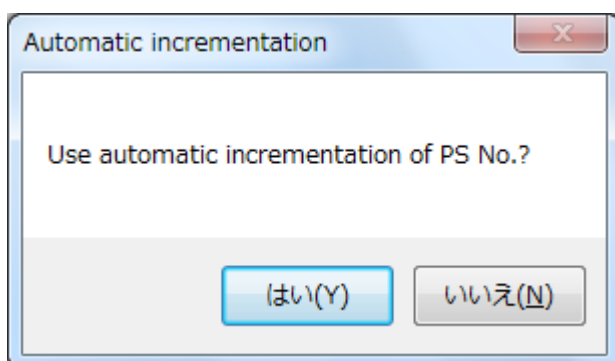
CSV ファイルに保存された子機設定情報の[スタジオ名、システム名、子機番号]の組合せを選択し、USB に接続した PS に、該当する子機設定情報を連続して書き込みます。  
該当する子機設定情報の子機番号を使用し、1 回目の書き込みでは該当する子機番号を書き込みます。2 回目以降の書き込みでは順次、子機番号をインクリメントして書き込みます。  
以下の手順に従って自動設定を行ってください。



- ① 「Registered System Setting (Common)」を選択し、スタジオ名、システム名、子機番号を選択し、「Start Setup」を選択します。

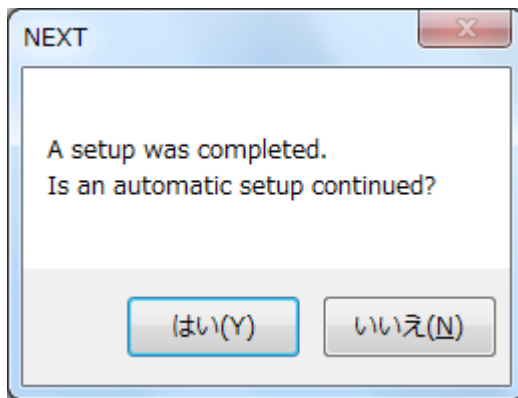


- ② 「はい」を選択します。

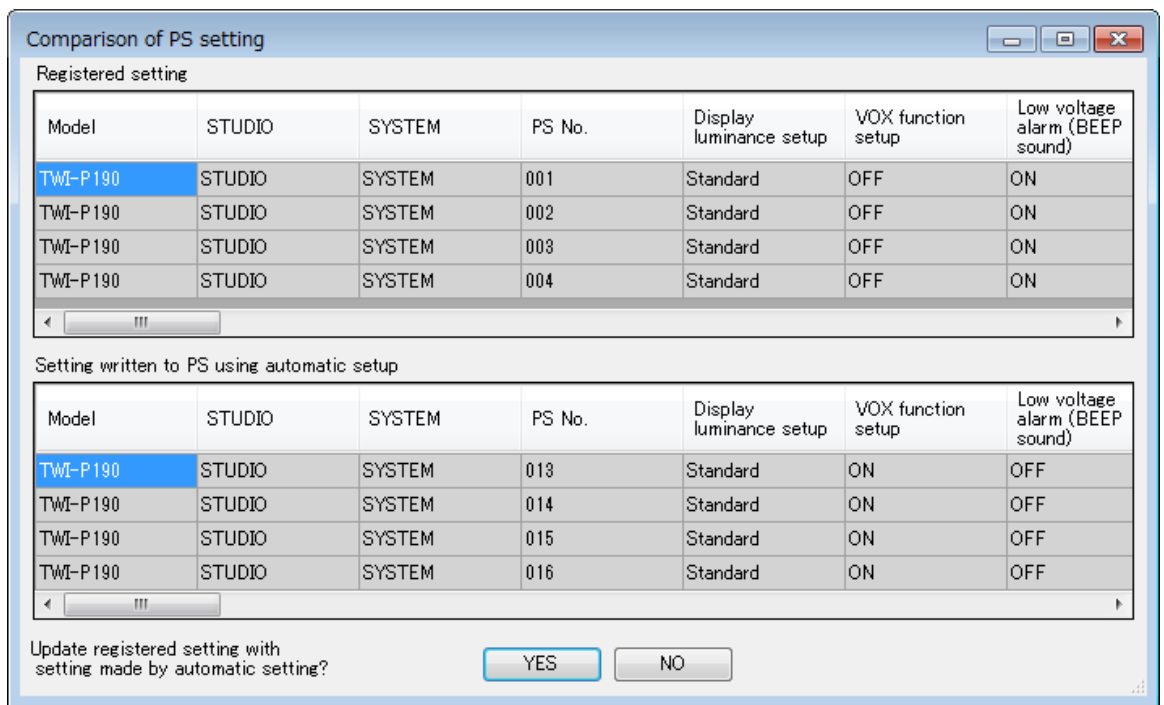


- ③ 「はい」を選択します。  
④ USB に接続した PS に選択した子機設定情報を書き込みます。  
【注意】PS を USB に接続していない場合、PS 接続待ち画面(使用方法「起動」章参照)が表示されます。PS を USB に接続してください。

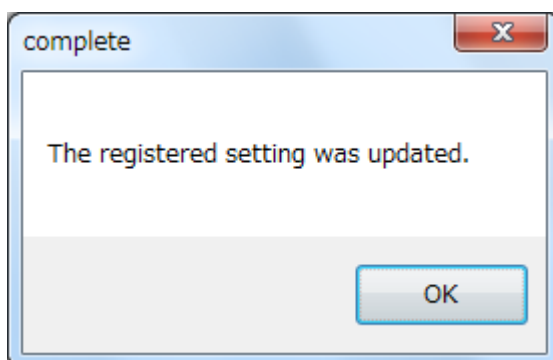




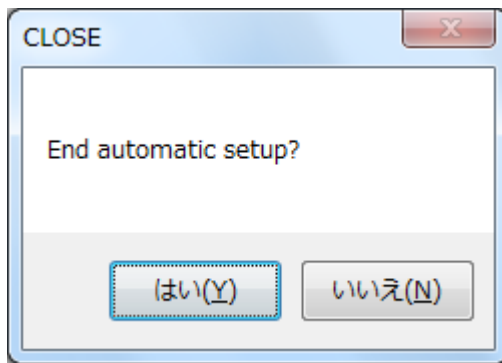
- ⑤ 継続して他の PS に子機設定情報を書き込む場合は、PS を USB から外し、他の PS を USB に接続して「はい」を選択します。自動設定を終了する場合は、「いいえ」を選択します。



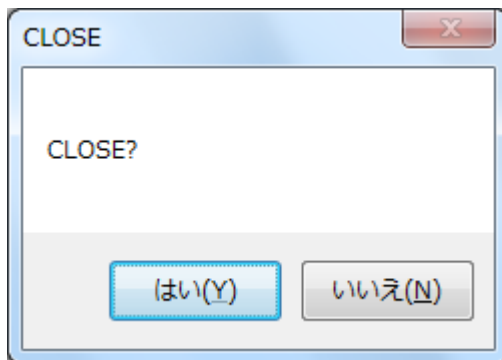
- ⑥ 差分リストが表示されます。Registered setting リストには設定前の子機設定情報が、Setting written to PS using automatic setup リストには自動設定で変更された子機設定情報が表示されます。「YES」を選択した場合、リストに表示されている CSV ファイルの子機設定情報が追加あるいは上書きされ、⑦に遷移します。「NO」を選択した場合、⑧に遷移します。



- ⑦ 「OK」を選択します。



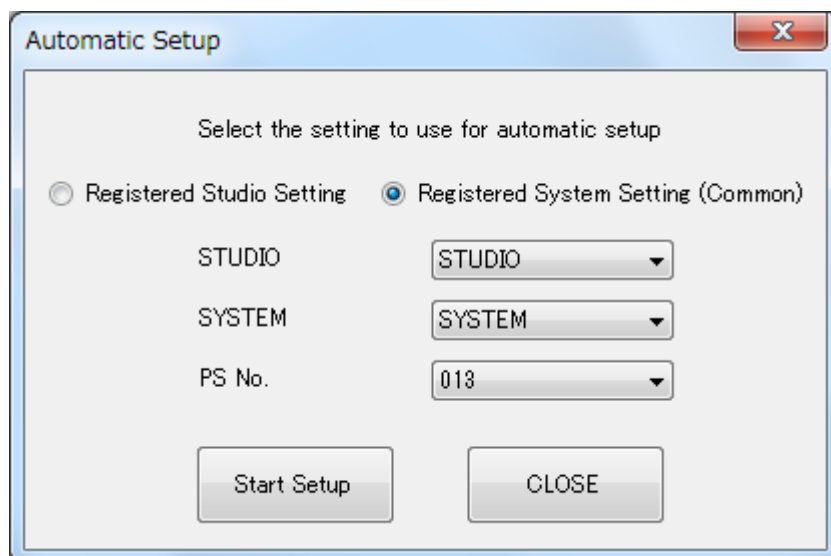
- ⑧ 自動設定を終了の問い合わせが表示されます。「はい」を選択した場合は、⑨に遷移します。「いいえ」を選択した場合は、①に遷移します。



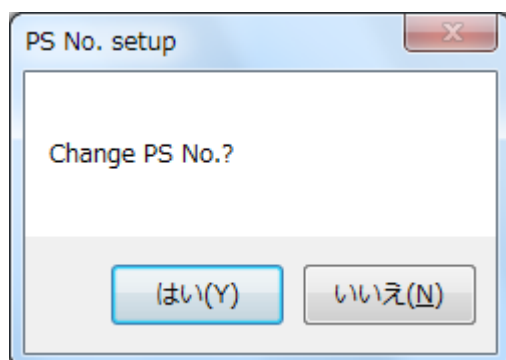
- ⑨ 自動設定画面を閉じるかどうかの問い合わせが表示されます。「はい」を選択した場合は、自動設定画面を閉じ自動設定を終了します。「いいえ」を選択した場合は、①に遷移します。

(13) 登録済システムを選択した自動設定(子機番号都度設定)

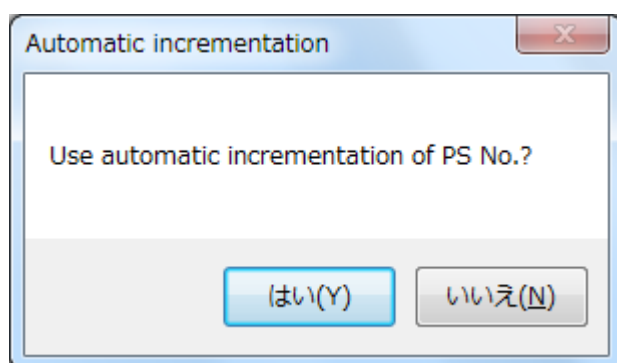
CSV ファイルに保存された子機設定情報の[スタジオ名、システム名、子機番号]の組合せを選択し、USB に接続した PS に、該当する子機設定情報を連続して書き込みます。  
該当する子機設定情報の子機番号を使用せず、子機番号を都度指定して書き込みます。  
以下の手順に従って自動設定を行ってください。



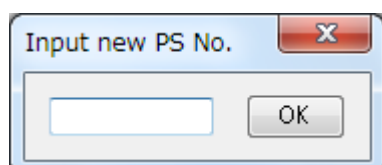
- ① 「Registered System Setting (Common)」を選択し、スタジオ名、システム名、子機番号を選択し、「Start Setup」を選択します。



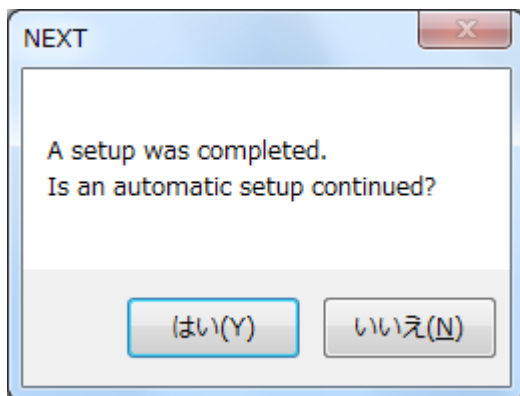
- ② 「はい」を選択します。



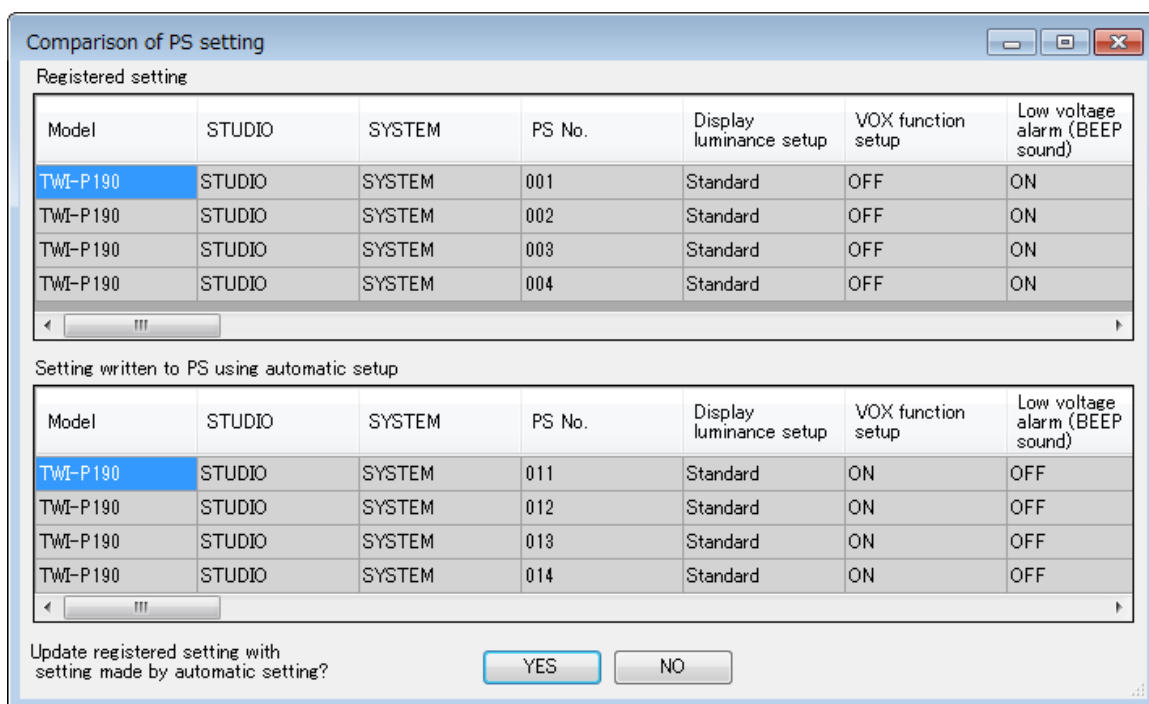
- ③ 「いいえ」を選択します。



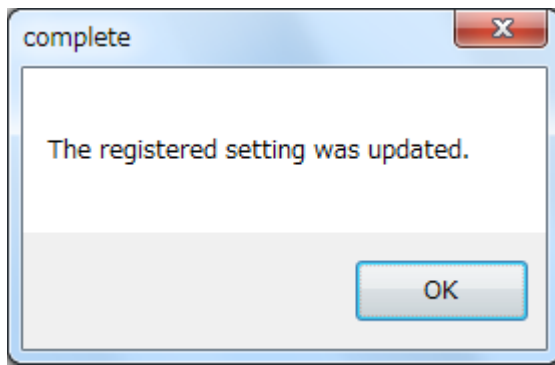
- ④ 子機番号を指定し、「OK」を選択します。  
 入力できる子機番号の範囲は以下のとおりです。  
 TWI-P190 : 001～199  
 YMT-1940, YMT-1940A : 001～255
- ⑤ USB に接続した PS に選択した子機設定情報を書き込みます。  
 【注意】 PS を USB に接続していない場合、PS 接続待ち画面(使用方法「起動」章参照)が表示されます。PS を USB に接続してください。



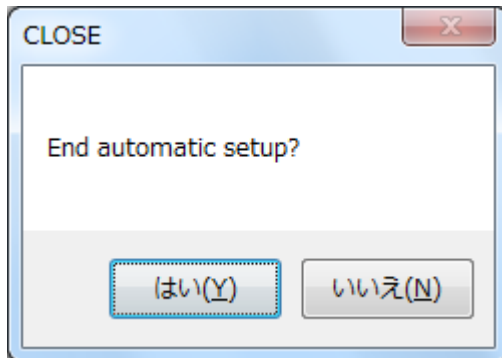
- ⑥ 継続して他の PS に子機設定情報を書き込む場合は、PS を USB から外し、他の PS を USB に接続して「はい」を選択すると再度④に遷移します。自動設定を終了する場合は、「いいえ」を選択します。



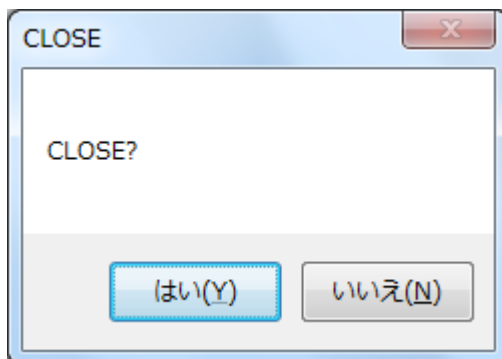
- ⑦ 差分リストが表示されます。Registered setting リストには設定前の子機設定情報が、Setting written to PS using automatic setup リストには自動設定で変更された子機設定情報が表示されます。「YES」を選択した場合、リストに表示されている CSV ファイルの子機設定情報が追加あるいは上書きされ、⑧に遷移します。「NO」を選択した場合、⑨に遷移します。



⑧ 「OK」を選択します。



⑨ 自動設定を終了の問い合わせが表示されます。「はい」を選択した場合は、⑩に遷移します。「いいえ」を選択した場合は、①に遷移します。

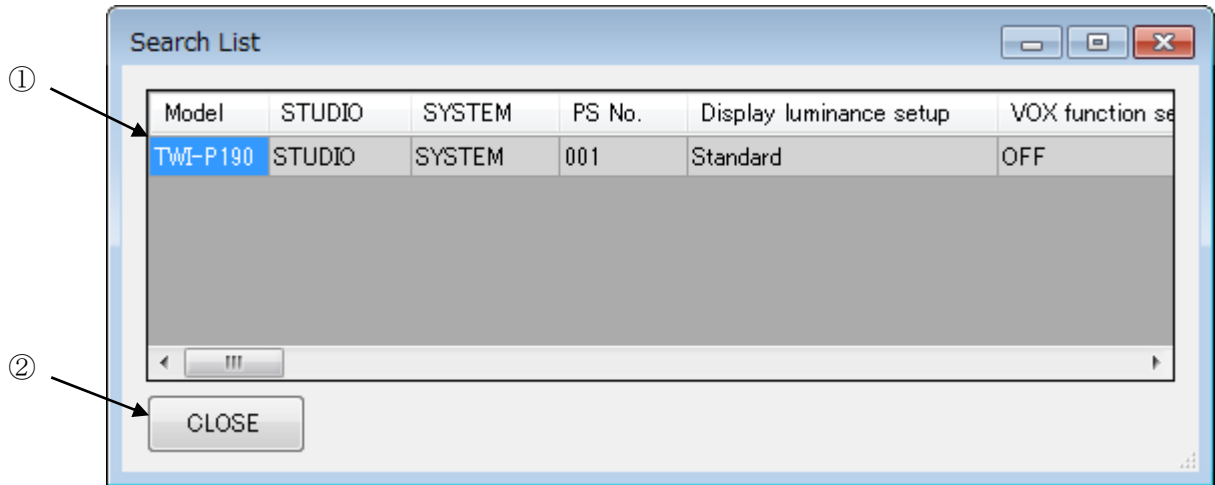


⑩ 自動設定画面を閉じるかどうかの問い合わせが表示されます。「はい」を選択した場合は、自動設定画面を閉じ自動設定を終了します。「いいえ」を選択した場合は、①に遷移します。

(14) 検索リスト画面

検索リスト画面では USB に接続した PS の子機設定情報を CSV ファイルから検索し、リストに表示することができます。

● 起動時



① 子機設定情報の表示

CSV ファイルに保存された子機設定情報のスタジオ名、系統名、子機番号、表示パネル輝度設定、VOX 機能設定、BEEP 音の減電圧警報音、BEEP 音の弱電界警報音、BEEP 音の呼び出し音、BEEP 音量設定、アイソレーション設定、各電池に対応した残量表示設定、LED 設定 (TALK ON)、マイク音量設定、モード選択、接続親機番号、グループ設定、ハンドオーバーレベル設定、接続親機番号別親機 ID、RF パワーレベル設定、高音強調設定、エンハンサー設定、UTL スイッチ機能設定、UTL スイッチによる設定変更の制限 (ロック) 設定、子機運用中の UTL スイッチ操作の制限 (ロック) 設定が表示されます。

- |                                 |   |
|---------------------------------|---|
| Model . . .                     | USB で接続している子機の機種名が表示されます。   |
| STUDIO . . .                    | スタジオ名が表示されます。   |
| SYSTEM . . .                    | 系統名が表示されます。   |
| PS No. . . .                    | 子機番号が表示されます。<br>TWI-P190 : 001~199<br>YMT-1940/YMT-1940A : 001~255  |
| Display luminance setup . . .   | 表示パネル輝度設定が Standard(標準)または High(明)で表示されます。<br>【注意】YMT-1940A, TWI-P190 は表示パネル輝度設定を使用しないため、Standard(標準)固定となります。 |
| VOX function setup . . .        | VOX 機能設定が ON または OFF で表示されます。   |
| Low voltage alarm . . .         | BEEP 音の減電圧警報音が ON または OFF で表示されます。  |
| Weak electric field alarm . . . | BEEP 音の弱電界警報音が ON または OFF で表示されます。  |

CS call tone . . .	BEEP 音の呼び出し音が ON または OFF で表示されま す。
Volume setup . . .	BEEP 音量設定が Standard(標準)または Low(小)で表 示されます。
Isolation setup . . .	アイソレーション設定が ON または OFF で表示されま す。
Battery indicator mode . . .	各電池に対応した残量表示設定が表示されます。 YMT-1940/YMT-1940A : YBA-4120 または PBA-4120 TWI-P190 : Alkaline Battery または Ni-MH Battery
LED setup (TALK ON) . . .	LED 設定 (TALK ON) が Green → Red(緑 → 赤)また は Red → Green(赤 → 緑)で表示されます。
Mic gain setup . . .	マイク音量設定が Standard(標準)または Low(小)で 表示されます。
Operation mode . . .	モード選択が PS mode(子機モード)または Type1 receiver mode(旧受令モード)または Type2 receiver mode(新受令モード)で表示されます。
CS No. selection . . .	接続親機番号が 0~16 で表示されます。
Group setup . . .	グループ設定が 1~4 で表示されます。
Hand-over threshold level . . .	ハンドオーバーレベル設定が Low(低)または Medium(中)または High(高)で表示されます。
CS ID . . .	接続親機番号 1~16 ごとの親機 ID が表示されます。
(以下は TWI-P190 を接続しているときに設定値が表示されます)	
RF power level . . .	RF パワーレベル設定が always-MAX(最大レベル)ま たは AUTO(自動レベル設定)で表示されます。
Audio treble setup . . .	高音強調設定が OFF または高音強調フィルタの強さ Boost1(弱)、Boost2(強)で表示されます。
Audio enhancer setup . . .	エンハンサー設定が ON または OFF で表示されます。
UTL switch select A/B/C . . .	子機(PS)本体の UTL スイッチ機能設定が以下のとお り表示されます。 OFF : 機能オフ MOB1/MOB2 Alt. select : スイッチ長押しの際に MOB1/MOB2 を切り替え MOB1 select : スイッチ長押し時 MOB1 に切り替え MOB2 select : スイッチ長押し時 MOB2 に切り替え Reconnection : スイッチ長押し時再接続 Iso. switch : スイッチ長押し時アイソレーション 機能の ON/OFF 切り替え

Audio Loud setup . . .	大音量モード設定が ON または OFF で表示されます。
LCD backlight (UTL SW) . . .	UTL スイッチ短押し時の LCD バックライト点灯が ON または OFF で表示されます。
Setting lock . . .	UTL スイッチによる設定変更の制限 (ロック) 設定が ON または OFF で表示されます。
UTL switch lock . . .	子機運用中の UTL スイッチ操作の制限 (ロック) が ON または OFF で表示されます。

② 終了

「CLOSE」 ボタンを押すと、検索リスト画面が終了し、メイン画面が表示されます。

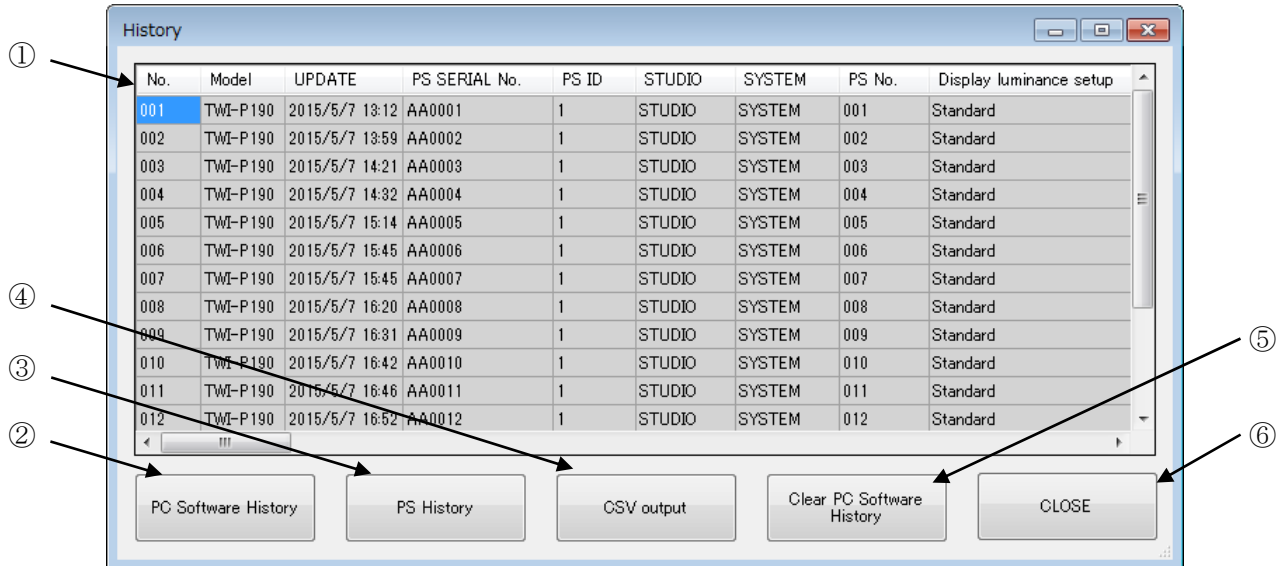


## (15) 履歴画面

履歴画面では USB に接続した PS に書き込んだ履歴情報を表示できます。

### ● 起動時

起動時は本ソフトウェアが保存している子機設定履歴情報が表示されます。



### ① 子機設定履歴情報の表示

子機設定履歴情報のスタジオ名、系統名、子機番号、表示パネル輝度設定、VOX 機能設定、BEEP 音の減電圧警報音、BEEP 音の弱電界警報音、BEEP 音の呼び出し音、BEEP 音量設定、アイソレーション設定、各電池に対応した残量表示設定、LED 設定 (TALK ON)、マイク音量設定、接続親機番号別親機 ID、モード選択、接続親機番号、グループ設定、ハンドオーバーレベル設定、RF パワーレベル設定、高音強調設定、エンハンサー設定、UTL スイッチ機能設定、UTL スイッチによる設定変更の制限 (ロック) 設定、子機運用中の UTL スイッチ操作の制限 (ロック) 設定が表示されます。

Model . . .

子機の機種名が表示されます。

YMT-1940/YMT-1940A ID 設定 PC ソフトから引き継いだ設定データの機種名は“UNKNOWN”と表示されます。

STUDIO . . .

スタジオ名が表示されます。

SYSTEM . . .

系統名が表示されます。

PS No. . . .

子機番号が表示されます。

TWI-P190 : 001~199

YMT-1940/YMT-1940A : 001~255

Display luminance setup . . . 表示パネル輝度設定が Standard (標準) または High (明) で表示されます。

【注意】 YMT-1940A, TWI-P190 は表示パネル輝度設定を使用しないため、Standard (標準) 固定となります。

VOX function setup . . .

VOX 機能設定が ON または OFF で表示されます。

Low voltage alarm . . .	BEEP 音の減電圧警報音が ON または OFF で表示されます。
Weak electric field alarm . . .	BEEP 音の弱電界警報音が ON または OFF で表示されます。
CS call tone . . .	BEEP 音の呼び出し音が ON または OFF で表示されます。
Volume setup . . .	BEEP 音量設定が Standard(標準)または Low(小)で表示されます。
Isolation setup . . .	アイソレーション設定が ON または OFF で表示されます。
Battery indicator mode . . .	各電池に対応した残量表示設定が表示されます。 YMT-1940/YMT-1940A : YBA-4120 または PBA-4120 TWI-P190 : Alkaline Battery または Ni-MH Battery
LED setup (TALK ON) . . .	LED 設定 (TALK ON) が Green → Red(緑 → 赤)または Red → Green(赤 → 緑)で表示されます。
Mic gain setup . . .	マイク音量設定が Standard(標準)または Low(小)で表示されます。
CS ID . . .	接続親機番号 1~16 ごとの親機 ID が表示されます。
Operation mode . . .	モード選択が PS mode(子機モード)または Type1 receiver mode(旧受令モード)または Type2 receiver mode(新受令モード)で表示されます。
CS No. selection . . .	接続親機番号が 0~16 で表示されます。
Group setup . . .	グループ設定が 1~4 で表示されます。
Hand-over threshold level . . .	ハンドオーバーレベル設定が Low(低)または Medium(中)または High(高)で表示されます。
RF power level . . .	RF パワーレベル設定が always-MAX(最大レベル)または AUTO(自動レベル設定)で表示されます。※
Audio treble setup . . .	高音強調設定が OFF または高音強調フィルタの強さ Boost1(弱)、Boost2(強)で表示されます。※
Audio enhancer setup . . .	エンハンサー設定が ON または OFF で表示されます。※

UTL switch select A/B/C	. . . 子機(PS)本体の UTL スイッチ機能設定が以下のとおり表示されます。※ OFF：機能オフ MOB1/MOB2 Alt. select：スイッチ長押しの際に MOB1/MOB2 を切り替え MOB1 select：スイッチ長押し時 MOB1 に切り替え MOB2 select：スイッチ長押し時 MOB2 に切り替え Reconnection：スイッチ長押し時再接続 Iso. switch：スイッチ長押し時アイソレーション機能の ON/OFF 切り替え
Audio Loud setup	. . . 大音量モード設定が ON または OFF で表示されま す。※
LCD backlight (UTL SW)	. . . UTL スイッチ短押し時の LCD バックライト点灯が ON または OFF で表示されます。※
Setting lock	. . . UTL スイッチによる設定変更の制限 (ロック) が ON または OFF で表示されます。※
UTL switch lock	. . . 子機運用中の UTL スイッチ操作の制限 (ロック) が ON または OFF で表示されます。※

※本ソフトウェアが保存している子機設定履歴情報の表示の場合、データベースの仕様上 Mode (機種) が YMT-1940/YMT-1940A/UNKNOWN でも設定値が表示されるため無視してください。

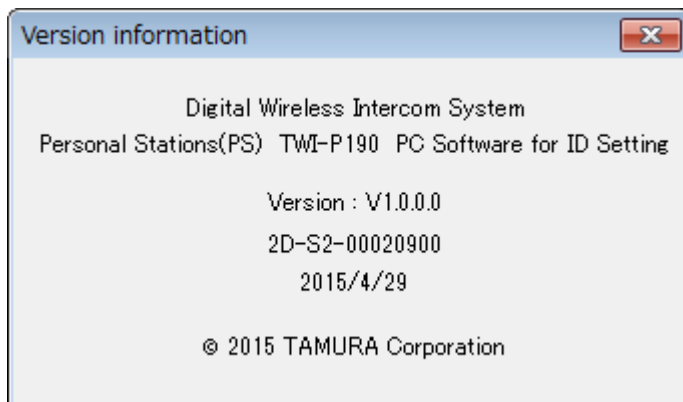
※PS が保存している子機設定履歴情報の表示(③)の場合、USB で接続した子機が YMT-1940/YMT-1940A のときは設定値が表示されません。

- ② 本ソフトウェアが保存している子機設定履歴情報の表示  
 「PC Software History」ボタンを押すと、本ソフトウェアが保存している子機設定履歴情報が①に表示されます。
- ③ PS が保存している子機設定履歴情報の表示  
 「PS History」ボタンを押すと、USB に接続した PS から PS が保存している子機設定履歴情報を読み出し、①に表示されます。  
 PS には、最大 10 件の子機設定履歴情報が保存されます。保存された履歴が 10 件に達した後に子機設定が行われると最も古い履歴が削除され、最新の設定が履歴に保存されます。  
**【注意】** PS を USB に接続していない場合、PS 接続待ち画面(使用方法「起動」章参照)が表示されます。PS を USB に接続してください。
- ④ 子機設定履歴情報の CSV ファイル出力  
 「CSV output」ボタンを押すと、①に表示されている子機設定履歴情報が CSV ファイルに保存されます。
- ⑤ 本ソフトウェアが保存している子機設定履歴情報の削除  
 「Clear PC Software History」ボタンを押すと、本ソフトウェアが保存している子機設定履歴情報が削除されます。
- ⑥ 終了  
 「CLOSE」ボタンを押すと、履歴画面が終了し、メイン画面が表示されます。

(16) バージョン情報画面

バージョン情報画面では本ソフトウェアのバージョン情報を表示できます。

● 起動時



(17) 子機設定情報ファイル

本ソフトウェアでは子機設定情報を CSV 形式のテキストファイル(save.csv)に保存します。

子機設定情報ファイルは以下のドライブ：ディレクトリに保存されます。

OS	保存先
Microsoft® Windows Vista® Microsoft® Windows® 7 Microsoft® Windows® 8, 8.1	C:\Users\ユーザー名\AppData\Roaming\YMT_Setting
Microsoft® Windows® XP	C:\Documents and Settings\ユーザー名\Application Data\YMT_Setting

※「ユーザー名」はログオンしたユーザー名に置き換えてください。

子機設定情報ファイルフォーマットは下記のとおりです。

<子機設定情報 CSV ファイルフォーマット>

- Model . . . . . 子機の機種名を表すコード（機種コード）を指定します。  
CSV ファイルが保存されたとき USB で接続された子機の機種コードが書き込まれます。  
50 : TWI-P190  
41 : YMT-1940A  
40 : YMT-1940  
0 : 不明  
【注意】 YMT-1940/YMT-1940A ID 設定 PC ソフトから引き継がれたデータの機種コードは 0 になります。
- STUDIO . . . . . スタジオ名を英数大文字 9 桁以内で指定できます。  
SYSTEM . . . . . 系統名を英数大文字 9 桁以内で指定できます。  
PS No. . . . . 子機番号を指定できます。  
TWI-P190 : 001~199  
YMT-1940/YMT-1940A : 001~255
- Display luminance setup . . . . . 表示パネル輝度設定を 0(標準)または 1(明)で指定できます。  
【注意】 YMT-1940A, TWI-P190 は表示パネル輝度設定を使用しないため、0(標準)固定となります。
- VOX function setup . . . . . VOX 機能設定を 1(ON)または 0(OFF)で指定できます。  
Low voltage alarm . . . . . BEEP 音の減電圧警報音を 1(ON)または 0(OFF)で指定できます。  
Weak electric field alarm . . . . . BEEP 音の弱電界警報音を 1(ON)または 0(OFF)で指定できます。  
CS call tone . . . . . BEEP 音の呼び出し音を 1(ON)または 0(OFF)で指定できます。  
Volume setup . . . . . BEEP 音量設定を 0(標準)または 1(小)で指定できます。  
Isolation setup . . . . . アイソレーション設定を 1(ON)または 0(OFF)で指定できます。  
Battery indicator mode . . . . . 各電池に対応した残量表示設定を指定できます。  
YMT-1940/YMT-1940A: 0(YBA-4120)または 1(PBA-4120)  
TWI-P190 : 0(Alkaline Battery)または 1(Ni-MH Battery)

LED setup (TALK ON) . . .	LED 設定(TALK ON)を <b>0</b> (緑 → 赤)または <b>1</b> (赤 → 緑)で指定できます。
Mic gain setup . . .	マイク音量設定を <b>0</b> (標準)または <b>1</b> (小)で指定できます。
CS ID 1 . . .	接続親機番号1の親機IDを <b>9桁の数字</b> で指定できます。
CS ID 2 . . .	接続親機番号2の親機IDを <b>9桁の数字</b> で指定できます。
CS ID 3 . . .	接続親機番号3の親機IDを <b>9桁の数字</b> で指定できます。
CS ID 4 . . .	接続親機番号4の親機IDを <b>9桁の数字</b> で指定できます。
CS ID 5 . . .	接続親機番号5の親機IDを <b>9桁の数字</b> で指定できます。
CS ID 6 . . .	接続親機番号6の親機IDを <b>9桁の数字</b> で指定できます。
CS ID 7 . . .	接続親機番号7の親機IDを <b>9桁の数字</b> で指定できます。
CS ID 8 . . .	接続親機番号8の親機IDを <b>9桁の数字</b> で指定できます。
CS ID 9 . . .	接続親機番号9の親機IDを <b>9桁の数字</b> で指定できます。
CS ID 10 . . .	接続親機番号10の親機IDを <b>9桁の数字</b> で指定できます。
CS ID 11 . . .	接続親機番号11の親機IDを <b>9桁の数字</b> で指定できます。
CS ID 12 . . .	接続親機番号12の親機IDを <b>9桁の数字</b> で指定できます。
CS ID 13 . . .	接続親機番号13の親機IDを <b>9桁の数字</b> で指定できます。
CS ID 14 . . .	接続親機番号14の親機IDを <b>9桁の数字</b> で指定できます。
CS ID 15 . . .	接続親機番号15の親機IDを <b>9桁の数字</b> で指定できます。
CS ID 16 . . .	接続親機番号16の親機IDを <b>9桁の数字</b> で指定できます。
Operation mode . . .	モード選択を <b>0</b> (子機モード)または <b>1</b> (旧受令モード)または <b>2</b> (新受令モード)で指定できます。
CS No. selection . . .	接続親機番号を <b>0~16</b> まで指定できます。
Group setup . . .	グループ設定を <b>1~4</b> まで指定できます。
Hand-over threshold level . . .	ハンドオーバーレベル設定を <b>0</b> (低)または <b>1</b> (中)または <b>2</b> (高)で指定できます。
RF power level . . .	RF パワーレベル設定を <b>0</b> (always-MAX)または <b>1</b> (AUTO)で指定できます。 【注意】YMT-1940, YMT-1940A では RF パワーレベル設定をユーザが指定できないため、この設定は無視されます。
Audio treble setup . . .	高音強調設定を <b>0</b> (OFF)または高音強調フィルタの強さ <b>1</b> (弱)、 <b>2</b> (強)で指定します。※
Audio enhancer setup . . .	エンハンサー設定を <b>0</b> (OFF)または <b>1</b> (ON)で指定します。※

UTL switch select A . . .	子機(PS)本体の UTL スイッチ機能設定を指定します。※ 0 (OFF-機能オフ) 1 (MOB1/MOB2 alt. select) 2 (MOB1 select) 3 (MOB2 select) 4 (Reconnection) 5 (Iso. switch)
UTL switch select B . . .	UTL switch select A と同じ
UTL switch select C . . .	UTL switch select A と同じ
Audio Loud setup . . .	大音量モードを 0(OFF)または 1(ON-電源投入時大音量モード選択表示)で指定します。※
LCD backlight (UTL SW) . . .	UTL スイッチ短押し時の LCD バックライト点灯を 0(OFF)または 1(ON)を指定します。※
Setting lock . . .	UTL スイッチによる設定変更の制限 (ロック) を 0(OFF)または 1(ON)で指定します。※
UTL switch lock . . .	子機運用中の UTL スイッチ操作の制限 (ロック) を 0(OFF)または 1(ON)で指定します。※

※YMT-1940, YMT-1940A では使用しないためこの設定は無視されます。

【お問い合わせ先】

株式会社 タムラ製作所

ブロードコム事業部

〒178-8511 東京都練馬区東大泉 1-19-43

営業 TEL 03-3978-2141・2146(ダイヤルイン)

FAX 03-3978-2005

カスタマーサービス TEL 03-3978-3101(ダイヤルイン)

FAX 03-3978-2058

西日本営業所

〒564-0062 大阪府吹田市垂水町 3-27-27 第2江坂三昌ビル 5F

TEL 06-4861-7722(代表)

FAX 06-4861-7728



**株式会社タムラ製作所**

**TAMURA CORPORATION**

<http://www.tamura-ss.co.jp/>

仕様および外観など、改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。